

第十二回 衆議院民法中修正案審查特別委員會速記録

(第一號)

(一一三)

明治三十一年五月二十八日午前九時三十八分開議

○委員長(大岡育造君) モウ時刻ガ参リマシタカラ、質問ヲ御始メニナルヤウニ致シタウゴザイマス

○(谷澤龍藏君) モウ質問シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(大岡育造君) 今日ハ第二章カラ……

○(谷澤龍藏君) 一章ハモウ御濟ミデスカ

○委員長(大岡育造君) 決議ハマダ濟ミマセヌケレドモ、質問ハモウ濟ンダ積リデアリマス

○(谷澤龍藏君) モウ一ツ二ツ殘ッテ居ルデスカ……

○委員長(大岡育造君) 宜シウゴザイマス

○(谷澤龍藏君) ソレデハ一章ノ中ノ殘ッテ居ルダケ質問致シマシテ、ソレカラ二章ニ移ルコトニ願ヒマス

○委員長(大岡育造君) ハイ

○(谷澤龍藏君) 此一章ノ中ノ第七百二十八條デアリマス、是ガ繼父母ト繼母ト又嫡母ト庶子トノ間ニ於テハ、親子間ニ於ケルト同一ノ親族關係ヲ生ズトアリマスガ庶子ノ母ニ於ケル親屬ノ關係ハ、ドシテ御考デアリマスカ、之ヲ血族親トシテ親戚ノ關係ヲ持ツモノト云フ方ノ主義ニナッテ居リマスカ、或ハ庶子ノ母ハ一向親戚ノ關係ハ持タナイノデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 是マデノ外國ノ習慣及公文書等ニ於キマシテモ、此庶子ト云フモノニ庶子ノ母ト云フモノハアリマセヌノデ、庶子ノ母ハ何時デモ親戚ノ關係ヲ持ツト云フ言葉ハ、父カラヨリ外ニ昔カラ立テ、ナイノデ、母ノ庶子ト云フ言葉ハアリマセヌノデ、夫故ニ此本案デハ總テ庶子ト云フ言葉ハ、父トノ關係ヨリ外見テアリマセヌ

○(谷澤龍藏君) 母トノ血族ノ關係ハアリマセヌカ

○政府委員(穂積陳重君) ソレハ別ニ關係ガアリマセウ、血族ノ關係ハ間接ノ關係ガアル

○(谷澤龍藏君) ソレカラ七百三十一條ノ一廢絶家再興ノ場合ニハ之ハ適用セスト云ヒマスノハ、此廢絶家再興ト云フコトハ、或ハ本家云々ノヤウナ其親戚ノ關係ノ外ニ之ヲ廣ク廢絶家ト云フト、其實家ノ方ノ廢絶家ヲ再興スルコトモアルサウ云フモノヲ、廣ク廢絶家ヲシタモノハ、親戚ノ關係ハ絶タナイト云フ趣意デアリマスガ、少シクサウ云フコトデアルト、此協議上ノ離婚ソレハ協議上デ離婚シテ父子ノ關係ハ止ンデシマフ、サウシテ實家再興スル實家ノ再興ヲシテモ、其關係ハ殘ルト云フト、妙ナ話デナイカト云フコトヲ考ヘマスカラ、之ヲ御尋ネ申シマス

○政府委員(穂積陳重君) 唯今ノ御尋ネデゴザイマスガ、此廢絶家再興ト申シマスモノハ、縁故ノナイ家ヲ再興スルト云フコトハ許シテナイノデ、現ニ七百四十三條ナドニ於キマシテモ、廢絶シタ本家カ分家カ同家ノ親戚間デナケレバ、再興スルコトハ出來マセヌ、然ルニ家ヲ去ルト云フコトデ、其家ノ續キ合ヒト云フコトガアリナガラ、マルデ此家ヲ去ッタト云フコトニ依ッテ、親族關係ガ絶ツト云フコトハ是マデモナイノデアリマスカラ、夫故ニ假令夫婦ノ一方ガ家ヲ去ルト云フコトガアリマシテモ、廢絶家再興ノタメニ家ヲ去ッタノナラバ、其タメニハ親族關係ハ絶タナイト云フコトヲ議定シタノデアリマス

○(谷澤龍藏君) サウスルト、判然其區別ヲ分ケテ聞キタウゴザイマスガ、唯今ノ御説明デアルト、詰リ養家ノ方ノ關係ノ家ヲ廢絶家シタモノ、ミヲ含ンダモノ、ミヲ、實家ノ廢絶家ト云フ場合ニハ、親族關係ハ止ムト云フ趣意デアリマスカ、サウシマスレバ、其廢絶家ト云フモノハ、成程四十三條ニ依レバ、廢絶家ト云ヘバ、或ハ其中ノ廢絶家ノミニ限ルヤウデアリマスガ、普通行ハレテ居ルノハ、絶家再興ハ養家ノ家ノ廢絶家モアル、自分ノ出タ所ノ家ノ廢絶家モアル、廢絶家ハ總テ養實共ニ關係ヲ持ッテ、廣ク通用スルモノデアラウト思ヒマス、殊ニ實家ナラ實家養家ナラ養家ト云フ文字ヲ加ヘテ置カ子バ、或ハソレヲ適用スルノニ、廣ク適用スルト云フ場合ニ至ラヌカト思ヒマスノデ、果シテ養家ノミ或ハ養家ニ關係ノナイ實家ノミハ親族關係ハ止マナイト云フ趣意デアリマスカ、ソコヲ判然伺ッテ置キタイ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ七百四十三條ニハ、何時デモ家族ト云フコトカラ、規定ガ立テ居ルノデゴザイマス、夫故ニ現ニ居ラヌト云フ家ト云フコトガ元トナッテ居リマスカラ、養家ニ居リマスレバ、養家ノ方カラ來テ、本家分家同家又ハ親族ト云フコトニ相成リマスガ、實家ノ方モ其養子デアリマスレバ、矢張親族ノ方ニナリマスカラ、其點カラ云ヘバ現ニ居ラヌ家ナラ親族ノ家デアリマスレバ、實家ノ或ル家ヲ再興スルト云フ場合モ、矢張含ムヤウニ相成リマス

○(谷澤龍藏君) 廣ク含ムノデスカ、サウスルト、協議上實家ヲ再興スルト云フ場合ニナルト、餘リ變ラヌヤウニ思ヒマスガ、ソレデ協議上デモ既ニ絶ッテ居ルカラ、ソレハ適ッタモノト見ルト云フノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) 一度離縁ヲシマスト、實家ヘ歸リマスカラ、ソレハ別ノ問題デ第二項ハ離縁ノ場合デナクシテ養家ニアッテ養家ヲ去リマシタ場合デ

○(谷澤龍藏君) モウ一應廢絶家シテ歸ル、實家再興ノタメ歸ッテ仕舞ッテ、親族關係ガ矢張持ッテ居ル、サウシテ協議上離別シタナラ、親族關係ガ絶ッテ仕舞フト云フコトハ、差異ガナカラウト思ヒマス、即チ實家ナラ實家ノ再興ヲスレバ、實家ヘ歸ッテ仕舞ッテモ、同シ親戚關係ハナカラウト思ヒマス

○(谷澤龍藏君) 縁故ノナイ家ヲ再興スルト云フコトハ許シテナイノデ、現ニ七百四十三條ナドニ於キマシテモ、廢絶シタ本家カ分家カ同家ノ親戚間デナケレバ、再興スルコトハ出來マセヌ、然ルニ家ヲ去ルト云フコトデ、其家ノ續キ合ヒト云フコトガアリナガラ、マルデ此家ヲ去ッタト云フコトニ依ッテ、親族關係ガ絶ツト云フコトハ是マデモナイノデアリマスカラ、夫故ニ假令夫婦ノ一方ガ家ヲ去ルト云フコトガアリマシテモ、廢絶家再興ノタメニ家ヲ去ッタノナラバ、其タメニハ親族關係ハ絶タナイト云フコトヲ議定シタノデアリマス

○(谷澤龍藏君) サウスルト、判然其區別ヲ分ケテ聞キタウゴザイマスガ、唯今ノ御説明デアルト、詰リ養家ノ方ノ關係ノ家ヲ廢絶家シタモノ、ミヲ含ンダモノ、ミヲ、實家ノ廢絶家ト云フ場合ニハ、親族關係ハ止ムト云フ趣意デアリマスカ、サウシマスレバ、其廢絶家ト云フモノハ、成程四十三條ニ依レバ、廢絶家ト云ヘバ、或ハ其中ノ廢絶家ノミニ限ルヤウデアリマスガ、普通行ハレテ居ルノハ、絶家再興ハ養家ノ家ノ廢絶家モアル、自分ノ出タ所ノ家ノ廢絶家モアル、廢絶家ハ總テ養實共ニ關係ヲ持ッテ、廣ク通用スルモノデアラウト思ヒマス、殊ニ實家ナラ實家養家ナラ養家ト云フ文字ヲ加ヘテ置カ子バ、或ハソレヲ適用スルノニ、廣ク適用スルト云フ場合ニ至ラヌカト思ヒマスノデ、果シテ養家ノミ或ハ養家ニ關係ノナイ實家ノミハ親族關係ハ止マナイト云フ趣意デアリマスカ、ソコヲ判然伺ッテ置キタイ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ七百四十三條ニハ、何時デモ家族ト云フコトカラ、規定ガ立テ居ルノデゴザイマス、夫故ニ現ニ居ラヌト云フ家ト云フコトガ元トナッテ居リマスカラ、養家ニ居リマスレバ、養家ノ方カラ來テ、本家分家同家又ハ親族ト云フコトニ相成リマスガ、實家ノ方モ其養子デアリマスレバ、矢張親族ノ方ニナリマスカラ、其點カラ云ヘバ現ニ居ラヌ家ナラ親族ノ家デアリマスレバ、實家ノ或ル家ヲ再興スルト云フ場合モ、矢張含ムヤウニ相成リマス

○(谷澤龍藏君) 廣ク含ムノデスカ、サウスルト、協議上實家ヲ再興スルト云フ場合ニナルト、餘リ變ラヌヤウニ思ヒマスガ、ソレデ協議上デモ既ニ絶ッテ居ルカラ、ソレハ適ッタモノト見ルト云フノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) 一度離縁ヲシマスト、實家ヘ歸リマスカラ、ソレハ別ノ問題デ第二項ハ離縁ノ場合デナクシテ養家ニアッテ養家ヲ去リマシタ場合デ

○(谷澤龍藏君) モウ一應廢絶家シテ歸ル、實家再興ノタメ歸ッテ仕舞ッテ、親族關係ガ矢張持ッテ居ル、サウシテ協議上離別シタナラ、親族關係ガ絶ッテ仕舞フト云フコトハ、差異ガナカラウト思ヒマス、即チ實家ナラ實家ノ再興ヲスレバ、實家ヘ歸ッテ仕舞ッテモ、同シ親戚關係ハナカラウト思ヒマス

○(谷澤龍藏君) 縁故ノナイ家ヲ再興スルト云フコトハ許シテナイノデ、現ニ七百四十三條ナドニ於キマシテモ、廢絶シタ本家カ分家カ同家ノ親戚間デナケレバ、再興スルコトハ出來マセヌ、然ルニ家ヲ去ルト云フコトデ、其家ノ續キ合ヒト云フコトガアリナガラ、マルデ此家ヲ去ッタト云フコトニ依ッテ、親族關係ガ絶ツト云フコトハ是マデモナイノデアリマスカラ、夫故ニ假令夫婦ノ一方ガ家ヲ去ルト云フコトガアリマシテモ、廢絶家再興ノタメニ家ヲ去ッタノナラバ、其タメニハ親族關係ハ絶タナイト云フコトヲ議定シタノデアリマス

○(谷澤龍藏君) サウスルト、判然其區別ヲ分ケテ聞キタウゴザイマスガ、唯今ノ御説明デアルト、詰リ養家ノ方ノ關係ノ家ヲ廢絶家シタモノ、ミヲ含ンダモノ、ミヲ、實家ノ廢絶家ト云フ場合ニハ、親族關係ハ止ムト云フ趣意デアリマスカ、サウシマスレバ、其廢絶家ト云フモノハ、成程四十三條ニ依レバ、廢絶家ト云ヘバ、或ハ其中ノ廢絶家ノミニ限ルヤウデアリマスガ、普通行ハレテ居ルノハ、絶家再興ハ養家ノ家ノ廢絶家モアル、自分ノ出タ所ノ家ノ廢絶家モアル、廢絶家ハ總テ養實共ニ關係ヲ持ッテ、廣ク通用スルモノデアラウト思ヒマス、殊ニ實家ナラ實家養家ナラ養家ト云フ文字ヲ加ヘテ置カ子バ、或ハソレヲ適用スルノニ、廣ク適用スルト云フ場合ニ至ラヌカト思ヒマスノデ、果シテ養家ノミ或ハ養家ニ關係ノナイ實家ノミハ親族關係ハ止マナイト云フ趣意デアリマスカ、ソコヲ判然伺ッテ置キタイ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ七百四十三條ニハ、何時デモ家族ト云フコトカラ、規定ガ立テ居ルノデゴザイマス、夫故ニ現ニ居ラヌト云フ家ト云フコトガ元トナッテ居リマスカラ、養家ニ居リマスレバ、養家ノ方カラ來テ、本家分家同家又ハ親族ト云フコトニ相成リマスガ、實家ノ方モ其養子デアリマスレバ、矢張親族ノ方ニナリマスカラ、其點カラ云ヘバ現ニ居ラヌ家ナラ親族ノ家デアリマスレバ、實家ノ或ル家ヲ再興スルト云フ場合モ、矢張含ムヤウニ相成リマス

○(谷澤龍藏君) 廣ク含ムノデスカ、サウスルト、協議上實家ヲ再興スルト云フ場合ニナルト、餘リ變ラヌヤウニ思ヒマスガ、ソレデ協議上デモ既ニ絶ッテ居ルカラ、ソレハ適ッタモノト見ルト云フノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) 一度離縁ヲシマスト、實家ヘ歸リマスカラ、ソレハ別ノ問題デ第二項ハ離縁ノ場合デナクシテ養家ニアッテ養家ヲ去リマシタ場合デ

○(谷澤龍藏君) モウ一應廢絶家シテ歸ル、實家再興ノタメ歸ッテ仕舞ッテ、親族關係ガ矢張持ッテ居ル、サウシテ協議上離別シタナラ、親族關係ガ絶ッテ仕舞フト云フコトハ、差異ガナカラウト思ヒマス、即チ實家ナラ實家ノ再興ヲスレバ、實家ヘ歸ッテ仕舞ッテモ、同シ親戚關係ハナカラウト思ヒマス

○(谷澤龍藏君) 縁故ノナイ家ヲ再興スルト云フコトハ許シテナイノデ、現ニ七百四十三條ナドニ於キマシテモ、廢絶シタ本家カ分家カ同家ノ親戚間デナケレバ、再興スルコトハ出來マセヌ、然ルニ家ヲ去ルト云フコトデ、其家ノ續キ合ヒト云フコトガアリナガラ、マルデ此家ヲ去ッタト云フコトニ依ッテ、親族關係ガ絶ツト云フコトハ是マデモナイノデアリマスカラ、夫故ニ假令夫婦ノ一方ガ家ヲ去ルト云フコトガアリマシテモ、廢絶家再興ノタメニ家ヲ去ッタノナラバ、其タメニハ親族關係ハ絶タナイト云フコトヲ議定シタノデアリマス

○(谷澤龍藏君) サウスルト、判然其區別ヲ分ケテ聞キタウゴザイマスガ、唯今ノ御説明デアルト、詰リ養家ノ方ノ關係ノ家ヲ廢絶家シタモノ、ミヲ含ンダモノ、ミヲ、實家ノ廢絶家ト云フ場合ニハ、親族關係ハ止ムト云フ趣意デアリマスカ、サウシマスレバ、其廢絶家ト云フモノハ、成程四十三條ニ依レバ、廢絶家ト云ヘバ、或ハ其中ノ廢絶家ノミニ限ルヤウデアリマスガ、普通行ハレテ居ルノハ、絶家再興ハ養家ノ家ノ廢絶家モアル、自分ノ出タ所ノ家ノ廢絶家モアル、廢絶家ハ總テ養實共ニ關係ヲ持ッテ、廣ク通用スルモノデアラウト思ヒマス、殊ニ實家ナラ實家養家ナラ養家ト云フ文字ヲ加ヘテ置カ子バ、或ハソレヲ適用スルノニ、廣ク適用スルト云フ場合ニ至ラヌカト思ヒマスノデ、果シテ養家ノミ或ハ養家ニ關係ノナイ實家ノミハ親族關係ハ止マナイト云フ趣意デアリマスカ、ソコヲ判然伺ッテ置キタイ

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ七百四十三條ニハ、何時デモ家族ト云フコトカラ、規定ガ立テ居ルノデゴザイマス、夫故ニ現ニ居ラヌト云フ家ト云フコトガ元トナッテ居リマスカラ、養家ニ居リマスレバ、養家ノ方カラ來テ、本家分家同家又ハ親族ト云フコトニ相成リマスガ、實家ノ方モ其養子デアリマスレバ、矢張親族ノ方ニナリマスカラ、其點カラ云ヘバ現ニ居ラヌ家ナラ親族ノ家デアリマスレバ、實家ノ或ル家ヲ再興スルト云フ場合モ、矢張含ムヤウニ相成リマス

○政府委員(穂積陳重君) ソレハ養家カラ再興スルノデゴザイマス、離縁ノ場合トハ違フト思ヒマス

○(野澤武之助君) 昨日私ガ何ツタ通り、養子ノ關係ハ血族ト同シセウニナルノデアルト云フコトヲ聞キマシタガ、勿論日本ノ習慣カラ申スト、養子ト實子ト同シヤウニナルト云フコトガアルベキヤウニ思ヒマスガ、外國ノ養子ト云フコトガ頭ニアルセーカ、養子ト云フモノハ、親類ノ關係ヨリ重クナルト云フト、少シ養子ニ重キヲ置キ過ギタカト思ヒマスガ、是ハ併シ日本ノ習慣ニ合ツテ居ルト云ヘバ、ソレダケデアリマスガ、チヨットソレニ就イテ伺ヒマスガ、ソレカラ「養親カ養家ヲ去リタルトキハ、其者及ヒ其實方ノ血族ト養子トノ親族關係ハ之ニ依リテ止ム」是ハドウ云フ場合デスカ、養親ガ養家ヲ去ルトキト云フノハ、養親ガ離縁シタ場合デゴザイマスカ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(穂積陳重君) 第一ノ御質問ハ是ハ是マデノ慣例ニ依リマシテ、日本デハ大層養子ガ重クナツテ居リマス、夫故ニ外國トハ違フテ、日本ノ慣例ガ斯ウナツテ居ルト云フ御答ヨリ外出來ナイ、ソレカラ第二ノ養親ガ養家ヲ去リマスト云フ事柄ハ、往々其家族ガ又其親戚ノ家ニ引取ラレマス家族ニシテ養子タルモノハ、親戚ノ家ニ引取ラレマス、或ハ其養親ガ本家相續ヲスルトカ、養子ガ分家シマストカ、種々ノ場合ガアルノデアリマス、養親ガ養家ヲ去ルト云フコトヲ……

○(野澤武之助君) 家族デナクナルト云フコトニナリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) サウデゴザイマス、サウスルト此モノトソレカラ實方ノ系屬ト養子トノ間ダケハ、家ヲ去ルト云フ事實ニ依テヤル

○(北島傳四郎君) 私ハ昨日モ一寸質問シテ置キマシタガ、私ノ考ヘデハ矢張直系親ト云フモノハ、ドコマデモ親屬ト云フ日本ノ古來ノ例ト考ヘテ居ル、ソレデ年ヲ分ケルト云フコトハ、支那ニ倣ッタノデアルト考ヘテ居リマシタ、サウシテ此處ニ第一ニ直系親トシテ、其次ニ六等親内ノ系屬ト云フヤウニ書分ケテ行ツタガ、日本ノ習慣ニ合ウト思フ、是レハ第一支那ノ例ニナツテ日本ノ古風ニナイト云フコトニ聞イテ居リマス、ソレカラ此法律全体ニ就イテ家ヲ尊ンデ居ル、日本デハ家ト云フヤウハ墓守ト云フ觀念ヲ置イタノデアアル、ソレデ家ニ重キヲ置イタモノデアアルコトハ、是レハ争フ可カラザル事實デアラウト思ヒマス、ソコデ此家族ハ日本ノ原則ハ、直系親ノ年ヲ上ゲザル所ノモノガ、日本ノ習慣デ之ヲ動かカスベカラザルコトデアラウト云フ考デアリマ

○政府委員(穂積陳重君) 第一條ニ六等親ト直系親屬ト所謂遠ク親等ノモノハ法律ニ所謂親族ニアラズシテ、單ニ祖先ハ又ハ子孫ト云フ關係ヨリ外ナイコトハ、日本ノ制度ノ定マリマシタノハ、御承知ノ通り、支那ノ法律ヲ摸範ト

致シマシタカラ、其初メハ慥ニ親等ノ事ヲ定メマシタノハ、是レハ律令ナドノ制定以來支那ニモ取ツタモノデアリマセウ、併シ其摸範ヲ取リマシテ以來、今日ニ至リマスマデ千年以上モ矢張此ノ如ク直系親ト雖ドモ、或親等ヲ超ヘマスルト、法律ニ所謂親族ト云フモノデナイトコトニ成リ來タツテ居ル、故ニ其何ハ久シイ間我風俗トナリ來タツテ居ツタモノデアラウト考ヘマスル、元トハ支那カラ參ツタノデアリマセウ

○(北島傳四郎君) 私ノ希望ハ是レハ矢張支那カラ來タ制度デモアリ、家族ト云フ家ヲ尊ブ精神ト併合スルニ、親々ノ間ニ年ヲ分ケナイ、ズット一本デアル家ヲ重ンズルト云フコトハ、一言シテ見マスレバ、大和魂ヲ作シ根據ノ重ナル勢力ガアラウト思ヒマスカラ、ソレテ、直系親ト分ケタクナイト云フ希望ヲ述ベタノデアリマス、尙ホ是レハ修正ノトキニ述ベマス

○(關信之介君) 七百三十條ニ養親ト云フノハ養父母ノコトデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマス

○(關信之介君) 七百二十八條ノ繼母モ、三十條ノ養親トシテ使ツタノデアリマスカ、日本デ、養親ト云フ言葉ヲ使ツタノハ見タコトガアリマセヌガ、此處ニ親ヲ附ケタノハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(穂積陳重君) 此養父母ト云フ字ハ、大概使ツテアリマス、養親ト云フ言葉ハ、公文書何ニハ見受マセヌガ、養親養子ト云フコトハ他ニハ幾ラモ使ヒマスノデ分リ易イカラ使ツタノデアリマス

○(關信之介君) ソレカラ今繼母ト繼親ト御使ヒニナツタノハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(穂積陳重君) ソレハ格別ノ意味モナイノデアリマス、ソコデ養親ト書キマス、唯便利ノ所ガアリマス、サウ致シマセヌト、所ニ據ルト又養母ト書分ケナケレバナラヌ所モアリマス、夫位ノ理由ヨリ外アリマセヌ

○(山田泰造君) 政府委員ハ妙ナ御答カト思ヒマス、今法律ノ意味ハモウ少シ意味ハ深重ニ考ヘデアアル、又法律全体カラ云フト、政府委員ノ云フヤウニ思ハレヌ、政府委員ガサウ云フヤウナ御説明ナレバ、養親ト云フ字ハ避ケンケレバナラヌト思ヒマス、此法律ノ意味ハ親等ヲ既ニ分ツタ日ニハ、親族關係ヨリ親等ト云フ字ガ餘程廣ク解釋シナケレバナラヌ、既ニ親等ヲ定メタ以上ハ、サウ解釋シナケレバナラヌ、而シテ此條文ハ養親トアル、是レハ養父母ノミナラズ、養親父母マデモ包含スルモノト、法律ノ全体カラ解釋シナケレバナラヌ、私ハサウ解釋スベキモノト見テ居ル、又サウ解釋スベキガ、法律全体カラ正當デアアル、單ニ養父母ニノミ止マルト云フト、是レハ養父母ト明ラカニ書カナケレバナラヌ、法律ノ親等ノ定メガ全体カラ云フト、ズット養祖父母マデヲ含ンデ解釋スルガ正當デアアル、故ニ政府委員ガ御話位ニナレバ、養父母ハ法律全体カラ解釋ヲ下シタナラバ、原案ノ儘デ宜カラウ、サウ云フ譯ニ解釋ハ出來ナイ

○政府委員(穂積陳重君) 原案ノ意味ハ、全ク養親ト云フコトハ、養ヒ親ト

○政府委員(穂積陳重君) 第一條ニ六等親ト直系親屬ト所謂遠ク親等ノモノハ法律ニ所謂親族ニアラズシテ、單ニ祖先ハ又ハ子孫ト云フ關係ヨリ外ナイコトハ、日本ノ制度ノ定マリマシタノハ、御承知ノ通り、支那ノ法律ヲ摸範ト

致シマシタカラ、其初メハ慥ニ親等ノ事ヲ定メマシタノハ、是レハ律令ナドノ制定以來支那ニモ取ツタモノデアリマセウ、併シ其摸範ヲ取リマシテ以來、今日ニ至リマスマデ千年以上モ矢張此ノ如ク直系親ト雖ドモ、或親等ヲ超ヘマスルト、法律ニ所謂親族ト云フモノデナイトコトニ成リ來タツテ居ル、故ニ其何ハ久シイ間我風俗トナリ來タツテ居ツタモノデアラウト考ヘマスル、元トハ支那カラ參ツタノデアリマセウ

○(北島傳四郎君) 私ノ希望ハ是レハ矢張支那カラ來タ制度デモアリ、家族ト云フ家ヲ尊ブ精神ト併合スルニ、親々ノ間ニ年ヲ分ケナイ、ズット一本デアル家ヲ重ンズルト云フコトハ、一言シテ見マスレバ、大和魂ヲ作シ根據ノ重ナル勢力ガアラウト思ヒマスカラ、ソレテ、直系親ト分ケタクナイト云フ希望ヲ述ベタノデアリマス、尙ホ是レハ修正ノトキニ述ベマス

○(關信之介君) 七百三十條ニ養親ト云フノハ養父母ノコトデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマス

○(關信之介君) 七百二十八條ノ繼母モ、三十條ノ養親トシテ使ツタノデアリマスカ、日本デ、養親ト云フ言葉ヲ使ツタノハ見タコトガアリマセヌガ、此處ニ親ヲ附ケタノハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(穂積陳重君) 此養父母ト云フ字ハ、大概使ツテアリマス、養親ト云フ言葉ハ、公文書何ニハ見受マセヌガ、養親養子ト云フコトハ他ニハ幾ラモ使ヒマスノデ分リ易イカラ使ツタノデアリマス

○(關信之介君) ソレカラ今繼母ト繼親ト御使ヒニナツタノハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマス

讀々意味デアリマス、ソレカラ又是マデノ文例ト致シマシテモ、亦養親ハ養祖
父母マデモ籠ツテ居リマセヌ、祖父母ヤ何カハ親方ノ祖父母ト書イテアリマ
ス所ガアリマス、此處ハ親ノ積リデアリマス

○(山田泰造君) 私ハ法律全體ノ趣意カラ解釋スルト、サウナルト思ヒマス、
其邊ハドウデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) ソレハ勿論此箇條カラサウヨリ他ナリマセヌ
○(波多野傳三郎君) 尙御尋子致シマス、七百六十三條ノ末段ノ但書デス

○委員長(大岡育造君) 今ノ一章ノ方ノ關係カラデスガ、二章ニ御移リニナ
リマシタカ—今ノハ質問ガ終リマシタナラバ二章ニ移リマス

○(波多野傳三郎君) 一寸御尋ネシテ置キマス、民法ト云フモノハ編纂スル
以上ハ、唯既往若クハ現在ダケヲ見テ居ルコトハ出來ズシテ、幾ラカ將來ノ事
モ考ヘナクツテナラヌト云フコトハ、已ムヲ得ザル事情デハナイカト存ジマ
ス、將來ト云フ事ヲ見ルノガ已ムヲ得ザル事情ト私ガ存ズルヨリハ寧ロ親族

編ナリ相續編ナリヲ御編纂ニナツタ法典調査會ノ委員諸君モ其御考デ編纂セ
ラレテ居ルガ故ニ、將來ノ傾向ヲ幾ラカ御覽ニナツテ御審査ニナツタヤウニ思
ハレル、果シテ左様ナコト、スルト、ナゼ一種ノ變体ノ庶子ト云フモノヲ認
メテ置クト云フ必要ガアルデアラウカ、此事ヲ一ツ承リ置キタイト思ヒマス

○政府委員(穂積陳重君) 庶子ト云フ事ヲ認メマスルニ付テハ、調査會ニ於
テモ非常ニ種々ナ意見ガ出マシテゴザイマス、畢竟之ヲ認メルト云フコトニ
議決ニ御成リマシタ理由ハ、ドウモ家ト云フモノヲ我國デ重シ、而シテ家
ト云フ家ノ繼續ヲ計ルト云フコトニスルト、父カラ私生子ヲ認知シテ、即チ
ソレニ或資格ヲ與ヘルト云フコト、是レマデノ庶子ト云フコトハドウモ今ノ

有様デ廢スルコトハ出來ナイ、畢竟家ヲ重シル方ガ議論ノ根底ト相成リマ
シテ、遂ニ此庶子ト云フコトハ矢張存スルト云フ方ニ相成ツタノデゴザイマ
ス、固ヨリ種々ナ案ハ出マシテゴザイマスガ、遂ニ此通りニ定リマシタ

○(北島傳四郎君) 今ノ説明ノ續キデアルカラ、一ツ承ツテ置キタウゴザイ
マス、尤モ家ヲ重シルコト云フコトニ付テハ、我々ハ固ヨリ日本ノ親族法ト
シテ家ヲ重シル制ヲ執ラナクテハナラヌト云フコトハ、今ノ政府委員ノ御
説明ト同シ感ヲ持ツテ居ルデアリマス、故ニ日本デハ—ソコデアルカラシ
テ、日本デハドウシテモ妾ト云フモノハ、親族ノ關係ヲ認メナクテハナルマイ
ト云フ考ヲ持ツテ居ル、是ハ今ノ家ヲ重シルカラシテ、正妻ニ子ノナイ時分

ハ、妾腹ノ子ヲ以テ家ヲ繼ガセルト云フコトハ、長イ間ノ—武家ノタメニ
斯ウ云フ風ニナツテ來タカ、又日本ハ先ヅ兎モ角モ家族制ノタメニ斯ウ云フ
習慣ガ起ツテ來タモノニ違ヒナカラウ、立入ツテ見ルト不文憲法ト同一ノ關
係デ、斯ウ云フ事ガ起ツテ來タト思ヒマス、ソコデ若シ妾ト云フモノヲ是デ
認メナイ時分ハ、實子ト妾トハ或ハ婚姻ヲ許スト云フ關係ガ起ツテ來ハシナ
イカ、ソレニ付イテ防グ道ハ先ツ今マデ見受ケタ所デハ何ンニモアリマセヌ
ガ、庶子ト云フ考ヲ認メタ以上ハ、妾ト云フモノヲ親族關係ノ中ノ一ツト認

メテ、サウシテ實子ハ或ハ妾ナルモノト父ノ死ンダ後婚姻ハ出來ナイト云フ
規定ヲ設ケルト云フコトハ、是非必要デアラウト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデ
アリマスガ、其點ニ就イテハ、起草委員或ハ政府委員ノ方デ、何モ御考ヘハ
ナイカ、ソレヲ防グ道ガアル御考ヘデアリマスカ、續キダカラ之ヲ何ツテ置キ
マス

○政府委員(穂積陳重君) 此庶子ヲ認メルト云フコトハ、御説ノ通り家ヲ重
ンシ祖先ノ祭ヲ繼續スル必要カラ出タノデアリマスルガ、是ハ固ヨリ家ヲ重
ンズルト云フ目的ヲ達スルニハ、今ノ時勢ニ於テ妾ト云フモノヲ認メナクテ
モ十分ニ達スルコトガ出來ルト考ヘマシタノデアリマスルシ、又一方ニ於テ

家ヲ重シルコトハ大切デアリマスガ、又他方ニ於テハ道德上ノ根本タル婚
姻ノ關係ニ大變重キヲ置クコトモ必要デアアル、一方ノタメニ總テ外ノモノハ
犧牲ニスル譯ニモイカナイノデアリマスカラ、妾ヲ認メナクテモ家ヲ重シ
ル主義ハ貫キ得ルコトデアアル、而シテ妾ヲ認メレバ、此風教上ニ非常ニ不都
合ナコトガアル、ソレ故ニ妾ハ總テ此案ニ依ツテハ認メテナイノデアリマ
シテ、妾ト其相手トナリマス、夫ノ關係ト云フモノハ全ク私通ノ關係ト認メ
マシタ

○(北島傳四郎君) 實子ト云フモノト婚姻ヲ許スコトハドウナリマス
○政府委員(穂積陳重君) ソレハ法律上ノ結果トシテ隨分サウ云フコトガ出
來得ルコトニナルカモ分ラナイ、自分ノ親ガ私通シテ居ルモノト婚姻スルコ
トヲ得ズト云フ箇條デモ設ケレバナンデゴザイマスガ、如何ニモソレモナン
ノ話デ、ソレ故ニソレヲ設ケテナイノデアリマス

○(北島傳四郎君) ソレデハ詰リサウ見タト云ヘバソレマデノコトデアリマ
スガ、先キニ波多野サンノ御質問ノ通り、是レバカリハ經典デナイノデアアルカ
ラシテ、實際ノ今日ノ場合ニドレ程適合スルノデアアルカト云フコトニナルト、
多少ソレハ何ンデアリマセウケレドモ、是ハ教科書デアリマセヌカラ、ドウ
シテモ今日ノ世界ニ能ク適合スルモノデナクテハナルマイト考ヘテ居ル、今
日ノ有様ハドウカト云フニ、妾ト云フモノハ澤山アルシ、又子ト云フモノハ
澤山アツタ以上ハ、是ナドモ認メテ置イタ方ガ、今日ノ狀態ニ能ク合フヤウ
ニ考ヘテ居リマスガ、ソレデ詰リ之ヲ政府委員ノヤウニスルト、或一ツノ宗
教上ノ議論ヲ一ツ腦中ニ置イテ、サウシテ一夫多妻ト云フコトハ正理ニ悖ル
ト云フ一ツ何か教ヘト社會ノ關係ハドウデアラウト云フト、是モ教ニ近附カ
ウト云フ希望デ出來タラシク聞ヘマス、ソレハ決シテ風習ニ反シタモノトハ
認メテ居リマセヌガ、風習ニ反スルト御認メニナツタノハ、ドウ云フ所カラ
御認メニナツタノデアリマスカ、日本デハ耶穌教ニ於テモ日本ノ是マデノ教
ヘニ就テモ、之ヲ禁ジタト云フコトハ認メマセヌシ、古イ時分ノ書物ニモ書
イテアツテ妾ニ子ノナカツタ時分ハ妻ヲ去ルニ及バヌト云フヤウナコトモ兎
ニ角教ヘテ居ツタ程ノ關係デアツテ、之ヲ以テ道德ニ反シタコト、ハ思ヒマセ
ヌガ……

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ大變ナ議論ニナリマスカラ、決シテ宗教ニハ基イテナイノデアリマス、一夫多妻ハ道德ニ適フテ居ルト思ヒマスガ、其議論ヲ致シテハ議論ニ涉ッテ參リマスカラ、特ニ御質問デモアリマシタラ申上ゲルコトニ致シマセウ

○(野澤武之助君) 今ノ庶子ニ就テハ妾腹ノ子ト云フ意味デアリマスガ、茲ニ父ガ認知シタラ私生子ヲ庶子ト云フダケノ意味デアリマスガ、是ハ矢張斯ウ云フ場合ニハ此私生子ト云フノハ今ノ馴合カラ出來タ子ト云フモノニナッテ妾ト云フモノハ極メテ置カナクテハナラヌ、妾ト認メタラ妾腹ノ子ヲ庶子ト云フ意味デアリマスガ

○政府委員(穂積陳重君) サウデゴザイマス

○(野澤武之助君) 庶子ト云フモノハ妾腹ノ子ガ庶子デゴザイマスナ

○政府委員(穂積陳重君) 御承知ノ通り、唯今ノ法律上デハ妾ト云フモノハナクナッテ居リマス、近年……

○(野澤武之助君) サウスルト庶子ト云フモノハ、決シテ妾腹ノ子デナイ私生子ト認知サレタモノヲ云フノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) サウ云フ意味デゴザイマス

○(野澤武之助君) 母ハ自分ハ認知スルノ如何ニ拘ハラズ、父ガ認知シナイ以上ハ、母ガ認知シテモ矢張私生子デスカ

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマス

○(山田泰造君) ツレデアルト、尙ホ一應御尋ネヲ致サナケレバナリマセヌ

○委員長(大岡育造君) ドウデス、山田君、一節ニ進ンデ居ルノデスカ

○(山田泰造君) 少シ疑問ガ起リマシタカラ質問シタイト思ヒマス、此配偶者ト云フ中ニハ、妾ガナイケレドモ、庶子ト云フ者ヲ認メタ以上ハ、妾モ又配偶者ノ一トシテ認メラルベキモノデアラウト思ヒマスガ、ツレハドウ云フ御意見デスカ

○政府委員(穂積陳重君) 唯今ノ御答ニ答ヘマスガ、私生子ノ母ガ父ノ配偶者タルコトハ勿論、妾デモ他ノ女デモ均シク父タル者ノ配偶者デアリマス

○(柏田盛文君) 大体ニ就イテノヤウデアリマスケレドモ、少シ質問ヲ致シマス、昨日山田君之助君ナドハ、親族編財產編ハ法典ノ中カラ抜イテモ差支ナイデハナイカト云フヤウナ意見モ出タヤウニ承知シテ居リマスガ、私ナドハ實ハ法律思想ニハ乏シイ方デアッテ、ツレ等ノコトニ就イテノ答辯モ明瞭ニナッテ居ラナイノデスカ、ツレニ就イテ尙ホ一言答辯ヲバ開イテ確カメテ置キタイト思フコトガアリマス、彼ノ條約或ハ……

○委員長(大岡育造君) チョット柏田君ニ申シマスガ、唯今デハ總体ノ質問ヲ終ッテ第一章第一節ヲヤツテ居リマスカラ、又總体ノ御質問ガ出マスト整理ガ付キマセヌカラ、ドウカ次ニシテ戴キタイト思ヒマス——第一節ニ就キマシテ別段御修正ハアリマセヌカ

○(木村實太郎君) 庶子ノ事ニ就イテ大分細カイ質問ガアリマシタガ、庶子ト其父ノ配偶者トノ關係ハ、實子ト同ジコトデアリマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 左様デゴザイマスナ、七百二十八條ニ「繼父母ト繼子ト又嫡母ト庶子トノ間ニ於テハ親子間ニ於ケルト同一ノ親族關係ヲ生ス」トアリマスカラ、ソコヲ御覽ヲ請ヒマス

○委員長(大岡育造君) 宜シウゴザイマスガ、質問ハモウ終ッタモノト認メマス

○(關信之介君) 私ハ七百二十七條ノ「養子ト養親」ツレカラ七百三十條ニモ「養子ト養親」トアリマス其「養親」ト云フノヲ「養父母」ト云フコトニ修正ヲ致シタイ、其理由ハ法律上ノ言葉ハ成ルベク人ニ分ル様ニスルガ宜シイノデ、養親ト云フヤウナ文字ハ日本ニ於テ多ク使ハヌヤウニ思ヒマスカラ、分り易ク「養父母」ト直ス方ガ宜シカラウト思ヒマス

○(山田泰造君) 私モ政府委員ノ説明ノ如クナラバ、今ノ修正通リヲ贊成致シマス

○(谷澤龍藏君) 贊成シマス

○(重岡薫五郎君) 原案贊成

○委員長(大岡育造君) 修正ニ御贊成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○委員長(大岡育造君) 少數デアリマス

○(谷澤龍藏君) 本員ハ此七百三十一條ヲ修正シタイト思ヒマス、此本家相續分家及ヒ廢絶家再興云々トアリマスガ、此「廢絶家再興」ノ上ニ「其他親族ノ廢絶家相續」即チ「其他親族」ト云フ五字ヲ挿入シタイ、其理由ハ唯今政府委員ニ質問ヲシマシテ、此廢絶家再興ト云フノハドウデアルカ、此養家ノ廢絶家デアルカ、又ハ實家ノ廢絶家デアルカ、又ハ廣ク是等ヲ包括シテ居ルモノデアアルカト尋ネマシタラバ、最初ハ七百四十三條ヲ引ヒテ養家ノ親族ノ關係アル廢絶家ノ關係デアルト云フコトヲ穂積君ハ御答ニナッタヤウデアリマス、其後梅政府委員ガ其趣意ハ養家カラシテ廢絶家ヲ相續スルノデアアルカ、ツレデ親族關係ヲ持ツモノデアルト云フコトノヤウニ理由ヲ附セラレタ、併シナガラ、日本ノ慣習デハ、此廢絶家ト云フ事ハ廣イコトデ、養家ノ親族ヲ再興スルモノト、實家ノ廢絶家ヲ相續スルコトモアル、所ガ此事ハ從來ノ關係デハ、廢絶家ヲスルト云フコトニナルト、一トタビ養家ニ復シテ、ツレカラ廢絶家ヲ相續スルノデアアル、併シナガラ此新民法ニ於テハ、其手續ハ省クト、ツレデ詰リ養家カラデモ、他ニ戸主ノ同意サヘアレバ、何レノ相續デモ出來ル、又再興デモ出來ルト云フコトデ、復籍スルト云フコトハ省ヒテアル、併シナガラ其實家ノ方トノ關係ハ廢絶家ヲ相續スル場合ニハ、即チ之ヲ離別シテ其養家ノ方ハ絶ヘテ仕舞ッテ實家ノ方ノ家名及ビ是ニ關係スル萬般ノ事ヲ相續スルト云フ場合ニハ、非常ニ養家ノ關係カラ養家ヲ慕フモノガアルノデスカ、要スルニ日本ノ今日マデノ習慣ニシテ實家ノ親族關係ヲ以テ廢絶家ヲ再興スルト云フ場合ニハ、養家ノ方ノ關係ハナイ、若シモ是モ構ハ

又ト云フコトデアレバ、矢張便宜上養家ノ方ニ絶家ガ出来、其次ニ又親族關係ノアル處ニ廢絶家ガ出来ルトシテモ、親族關係ト云フ精神マデモ取ツタモノデハナカラウト思フガ故ニ、本家相續分家相續又ハ其本家分家ノ親族ノ關係ヲ持ツテ居ル所ノ絶家再興ヲシタ所デ、養家關係ノアル絶家再興ヲシタ場合ニハ、親族關係ハ止マナイ、併シ此外實家ノ關係ノアル家ヲ再興スル場合ニハ、親族關係ハ絶ヘルト云フ方ニシテ置ク方が、從來ノ慣習ニ適當スルト云フコトニ、本員ハ認メルノデアリマスカラ、此動議ヲ提出致シマス

○政府委員(穂積陳重君) 是ハ前ニ説明致シマシタノト少シモ違フテ居ラナイノデ、七百七十三條ハ此養家カラ見テ、本家カ分家カ親族デナクテハイカナイ、而シテ實家ノ再興ト云フコトハ其養子カラ見ルト親族デアルカラ、養家カラ見マシテモ直グニ相續ガ出来ル親族ト云フコトハ這入ッテ居ルト云フコトヲ説明シタ譯デアリマス

○(谷澤龍藏君) 政府委員カラ辯明ガゴザイマシタカラ、モウ一應承リマス、親族ト云フ事ハナイ、モウ既ニ實家ノ方ノ家名ヲ相續スルト云フコトデアレバ、從來ノ慣習デアハ、從來ノ慣習デアハ之ヲ是非トモ實家ヲ再興スルトキニハ、一度實家ヘ籍ヲ送ッテ、サウシテ此實家再興ノ手續キヲシテ居ッタ、詰リ民法ノ精神ハ、其間ノ運用ダケハ直チニスルコトガ出来ルト云フ趣意デ、大体ノ精神ガサウナッテ居ル、故ニ政府委員ノ唯今ノ御説ニ拘ハラズ、本員ハ何處マデモ此動議ヲ提出致シマス

○委員長(大岡育造君) 谷澤君ノ唯今修正ノ動議ガゴザイマシタガ、申シ合セノ數ニ滿チマセヌデ成立シナイモノト認メマス、二人ト云フコトニナッテ居ルノニ、一人シカゴザイマセヌカラ

○委員長(大岡育造君) ソレデハ唯今ノ谷澤君ノ七百三十一條中ニ廢絶家再興ト云フ上ニ、「其他ノ親族」ト云フ五字ヲ加ヘルト云フ御修正ニ御同意ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

○委員長(大岡育造君) 少數デゴザイマス、最早御修正モゴザイマセヌヤウデゴザイマスカラ、此第一條ハ原案ヲ適當ト認メラレタラト致シマスル、第二章ニ移リマス——第二章ニ移リマシテ、第一節ヲヤリマスル、七百三十二條カラ七百四十五條マデ

○(谷澤龍藏君) 御尋ネシマスガ、此七百三十二條「戸主ノ親族ニシテ其家ニ在ル者」其家ニ在ル者ノ定義ハ或ハハ姻戚マデモ含ムモノデアルカ、奴婢下僕マデモ含シテ行クモノデアルカト云フコトヲ、此定義ヲ一應聞イテ置キタイ、ツレカラ第七百三十四條ノ第二項——第二項ノ「前項ノ規定ハ父母カ其家ヲ去リタル場合ニハ之ヲ適用セス」ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ思フニ父母共ニ其家ヲ去ッテ離婚ニナッタ場合ハ、子ハ其父ノ家ヘ連レテ行クト云フヤウナ精神デアル、處ガ、日本ノ習慣デアハ矢張父母共ニ家ヲ去ッ

テモ矢張子ハ其養家ニ置イテ置クコト、携へ去ルコトハ出来ナイ、矢張子ハ家ニ生レタモノト云フヤウナコトニナッテ居ル、然ルニ此規定ニ依テ見ルト、父母共ニ去ツタト云フヤウナ場合ニハ、父ノ家デ養家ニ遺シテ置カズシテ、父ノ家ヘ携ヘテ歸ルト云フヤウナ精神ニナッテ居ルヤウデゴザイマス、少シク習慣ト違フト思ヒマスルノミナラズ、ドウ云フ理由カラシテ、斯ウ云フヤウナコトニナリマスカ、此對テ説明ヲ請ヒタイ

○政府委員(穂積陳重君) 第七百三十二條ノ定義デゴザイマス、「戸主ノ親族ニシテ」ト云フデアリマスガ、此親族ト云フコトハ七百三十七條ニ定マツテ居リマスカラ、其外ノ奴婢家僕ト云フヤウナモノハ、這入ッテ居リマセヌ積リデゴザイマス、ツレカラ七百三十四條ノ第二項デゴザイマスガ、是ハ父母ガ共ニ家ヲ去ルトキニハマア一番近イ例ハ、夫婦養子ガ夫婦離縁ニナッタヤウナ場合デ、夫婦養子ガ夫婦共ニ離縁ニナリマシタ際ニハ、既ニ懷胎シテ離縁後ニ出生シタ、斯ウ云フ場合ニ於テ、其子ヲ養家ノ者ト致シマセヌト云フコトハ、一体此家ニ入ルト云フコト、又即チ戸籍ニ載ルト云フコトハ出生ノ時ガ何時デモ戸籍ニ載ルノデアリマシテ、ツレデ此懷胎ノ時ニ、既ニ人ノ存在ヲ認メルト云フコトハ是マデモ我が慣習ニアリマセヌ、夫故ニ夫婦共ニ離縁ニナッタ其時ニ、後トデ生レタ者ヲ——直グニ其生レタ子ヲ養家ノ方ノ者トスルト云フコトハ、我慣習ト御述ベニナリマシタガ、未ダ慣習ト云フコトハ私ノ調ベニハナイノデアリマシテ、既ニ是マデ、争ヒニナッテ居ルヤウナコトデゴザイマスガ、協議ヲ以テ元ノ實家ニ引取ルト云フコトハ構ハヌトアリマスルカラ見ルト、協議ナイ以上ハ、父母ガ矢張り其子ヲ有テマスルト云フコトハ、本則ニナッテ居ラウカト推測スル位ナコトデ、又子ト親トノ關係モサウ致ス方が宜シカラウト思フテ、本案ノ如クナッテ居リマス

○(山田泰造君) 少シ動議ガアリマス、七百三十四條、是ダケハ一ツ後ト週シニ願ヒタイト云フ、斯フ云フ動議ヲ出シマス

○委員長(大岡育造君) 質問ハ終リマシタカ

○(山田泰造君) イエ、質問等モ併セテ

○委員長(大岡育造君) 質問ガ濟ンデカラ……

○(山田泰造君) 是カラ餘程話シヨシテ見ナケレバ、腹ニ落チ入りカネルヤウニ思ヒマスカラ、一々筆記ニ載スルヨリモ、諸君ト協議ヲ致シテ見タイト思ヒマスカラ、ドウカ後ト週シニシテ、質問等ヲ願イタイ、ツレダケノ動議ヲ……

○(野澤武之助君) 七百三十三條ノ「子ハ父ノ家ニ入ル」トアリマスガ、子ト云フ者ニハ、嫡出廢子及ビ私生子トアリマスガ、此七百三十三條ノ子トハ、此三種ヲ共ニ含シテ居ルモノト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 父ノアリマスル子ハ總テ含ム積リデゴザイマスガ、父カ知レナイ子ガアリマスカラ、總テノ子ハ第一項ニ含シテ居リマセヌ、ドウゾ三項ニ御讀ミ下サイマスト、略ボ其範圍ガ分リマス

○(野澤武之助君) 父ガ勿論知レナイトキハ已ムヲ得マセヌガ、知レテ居リマシテモ認知シナイ、子ハ私生子ニナツテ居リマスガ、認知シナイデモ——認知ト云フノハ、法律上ノ認知デアツテ、唯ダ事實上認知シテ是ハ已レノ子デアルト云フヤウナ風ニ認知シタ場合ニハ、之ヲ私生子ト名ケルカ、サウスレハ無論其内ニ含ンデ居ルモノト解釋シテ宜シイ

○政府委員(穂積陳重君) 庶子ト……

○(野澤武之助君) イエ、ソレハ法律上ノ認知デゴザイマセウ、認知シナケレバ誰レノ子ダカ分ラヌ、是ハ已ノ子デアルト云フコトヲ、自分デ事實ヲ認メナケレハナラヌ、左モナケレバ誰ノ子デアるか、親ノナイ子ニナル、子ノ事實上父ト云フモノハ自分デ認メナイ以上ハ、容易ニ知レナイ、ソレデ事實上之ハ誰ノ子デアルト云フコトヲ親ガ承認スレバ、始メテソレハ私生子トナル、左モナケレバ私生子デアるか何ダカ分ラヌ、誰カラ生レタ子ダカ分ラヌ

○政府委員(穂積陳重君) 事實上已レノ子デアルトシマシテモ、私生子トナラヌ、矢張り母ノ私生子ト申シマス

○(野澤武之助君) サウスルト何ヲ私生子ト申シマスカ

○政府委員(穂積陳重君) 私生子ト申シマスルモノハ、母ガ正當ノ婚姻ニ依ラズシテ懐胎シ又婚姻シナイトキニ分婉致シマシタモノヨリ外ニ私生子ハアリマセヌ

○(野澤武之助君) サウスルト、父ノ私生子ハアリマセヌカ

○政府委員(穂積陳重君) アリマセヌ、認メマス、庶子

○(野澤武之助君) 私生子ト云フノハ、母ニハ私生子デ、父ガ認メタトキハ庶子ト云フノデスカ

○政府委員(穂積陳重君) サウデゴザイマス

○(北島傳四郎君) 質問シタイ事ガゴザイマスガ、昨日ノ續キニ關係シテ居ル事デアリマスカラシテ、梅委員長ガ出テ居ラレマスルナラ、此處ニ御出席ヲ願フコトハ出來マセヌカ

○政府委員(穂積陳重君) 唯今議場ノ方ニ案ガアリマスガ、私デ宜シイコトナラバ、私カラ御答ヲ致シマス

○(北島傳四郎君) ソレデ昨日一般ノ説明トシテ、日本デハ女戸主ト云フ者ヲ認メテアル、ソレハ習慣ガアルノデアル、其習慣ハ明治初年以來出來テ、戸籍帳ニ散布シテアル、故ニ此法律ニ於テハ女戸主ト云フモノヲ認メタ、斯ウ云フコトデアリマスガ、此女戸主ガ澤山アルニシマシテモ、ソレハ明治初年ノ時分ニ男女同權ト云フヤウナ一ツノ議論ガ盛ニ行ハレタトキニ、コンナ者ガチヨコチヨコ出タト思ハル、シ、サウシテ又總テ習慣ヲ採用スルニ就イテハ、善良ナル習慣ノミヲ採用スルト云フノガ、法律ノ精神デ、法例モ亦其精神ヲ持ッテ居ルヤウデアリマスガ、是レガ如何ナル階級ノ女子ガ多イカト云フト、私等ノ考デスルト、下等社會ノ待合又ハ貸坐敷ナドヲ營業スル女ガ、落語家ノ落魄漢デモ引摺込シテ其間ニ出來タ子供ヲ私生兒ト稱フ

ルコトモ出來ヌカラ、夫トシテサウカト云ツテ全權ヲ任セルコトガ出來ヌト云フノデ、自分ガ女戸主トナツテ居ル者ガ多イノデアリマス、起草者ハ或ハ女權ヲ發達サセルニ宜イト云フノデ、此女戸主ヲ認メマシタカ知ラヌガ、若シモサウ云フ者ガ下層社會ニアツタ所デ格別害ニハナラヌガ、法律ノ上デ立派ニ之ヲ認メタラ、世ノ中ニ權限ノナイ男ガ澤山出來テ、上等社會ニモ出來テ、日本ノ美風ヲ害スルコトニナリハセヌカト云フ考ヲ持ッテ居リマスノデ、是等ハ省イタラ宜カラウト思ヒマスガ、長イ習慣ガアルト云フノハ如何ナル階級デアツタノデアリマスガ、夫等ヲ伺ヒタイ

○政府委員(穂積陳重君) 是レハ重モ明治初年以來デアリマスガ、鎌倉時代ニモアリマシタコトハ、二位尼以來北條氏ナドニ能ク女戸主ト云フ者ガゴザリマシタ、ソレハ古イ事デ、明治六年一月布告第二十八號ニ華士族ノ家督相續ノコトガ極リマシタ、其中ニモ此婦女子ガ家督相續ヲ致シタラ云々ト云フコトガアリマス、又此階級ニ就イテノ御尋ネデアリマスガ、北島君ノ御示シノヤウナ、奇妙ナ種類ノ者バカリデハゴザリマセヌ、華族ナドニ於キマシテモ、マダ殘ツテ居ル、此華族ノ女戸主ハ段々無クスル主義デアリマスガ、現今マダ殘ツテ居リマス、士族其他デモ分ノ良イト惡イト拘ハラズ、女戸主ハ澤山アリマス

○(山田喜之助君) 私ハ此第二章ノ第一節總體ニ就イテ質問ヲ致シタイ、此章此節ニ於キマシテ戸主權ト云フモノハ、親權若クハ更ニ廣ク言ハバ、尊屬親タルノ權利ト衝突ヲ來シテ居ル場合ガアリマス、本員ノ考デハ、斯ル衝突ハ德義上甚ダ面白クナイ、又善良ナル風俗ニモ關係シテ居ル、併シ是レガ政策上其他ノ必要カラ認メナケレバナラヌト云フトキハ格別デアリマスガ、吾々ハ今其必要ヲ認メマセヌノデアリマス、甚ダ不當ナ規程ト思フノデアリマス、併シ立法者ハ何カ其必要ヲ認メタカ知リマセヌカラ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、問題ガ漠トシテ居ッテハ御答ニ御困リデアリマセウカラ、今之ヲ稍々詳細ニ述ヘヤウト思ヒマス、戸主ノ權利ト尊屬親タルノ權利ハ普通ノ場合ニ於テ相一致シテ居ル、即チ親タルベキ者ハ戸主デアアル、又祖父母タル者ハ戸主デアアル、即チ親權ト戸主權ハ多クノ場合ニ於テ一致シテ居ル、其レガ一致シテ居ルト云フコトハ、甚ダ風俗ノタメニモ、其他ノタメニモ宜カラウト思フノデゴザイマス、然ルニ茲ニ此一致ヲ破ル、二ツノモノヲ、立法者ハ認メテ居ル、其二ツハ何カト云フニ隱居トツレカラ 女戸主デアリマス、吾々ハ日本ノ習慣ニ於テ隱居ト云フ者ノ有ツタコトヲ知ッテ居ルシ、又有ルコトモ知ッテ居ル、併シナガラ法律ハ必ズシモ習慣ニ盲從スルガ效能デアアルモイト思フ、ソコデ今日ノ場合ニ於テ法律ニ於テ隱居ノ制度ヲ認メル必要ハ毫モ無イ無イノミナラズ、寧ロ反對ノ必要ガアロウト思フ、成程封建ノ時代ニ於テハ、戸主ニハ公ケノ勤ガアリマシタ故ニ、年取ッタ人ハ其公ヤケノ勤ニ堪ヘ難イ、自分ハ堪ヘル積リデモ、實際使フ方ニ於テ間ニ合ハヌト云フヤウナ所カラ乃チ自身ハ退隱シテ已レノ子ナリ孫ナリニ讓ルト云フコトガ、其社

會ノ必要デアリマシタ

○委員長(大岡育造君) 御注意申シマスガ、サウ云フ御演説ハ前回カラ幾度モ重ッテ居リマスカラ

○(山田喜之助君) 同シ事ハナカッタヤウニ思ヒマスガ

○委員長(大岡育造君) アナタデナクテモ、他ノ人カラアリマシタデ、大變進行ニ困リマスカラ……

○(山田喜之助君) 隱居ノ不必要ト云フコトガアリマシタカ

○委員長(大岡育造君) 女戸主ノコトガアリマシタ

○(山田喜之助君) 隱居ノ事ハアリマシタカ

○委員長(大岡育造君) 隱居ノ不必要ト云フコトハ少イデス

○(山田喜之助君) 隱居ノコトヲ少シ申シタイデス、ソレデ封建時代ニ於テハサウ云フ必要ガアッタ、又佛教或ハ其他カラ社會ニ一種ノ厭世的思想ガ起ッ

マ、是レハ大イニ隱居ヲ必要以外ニ促シタ原因トナッテ居リマス、併シナガラ今日ノ立法官ハ、最早ヤ封建上ノ必要ヲ認メラレルコトハナカラウト思ヒ

マスシ、又社會ニ蔓ッテ居ル佛教其他ノ原因ヨリ生ズル厭世の觀念ハ法律ヲ以テ保護シ若クハ獎勵スル必要ハナカラウト思フ、ソコデ此隱居ト云フモノ

ハ、短ク云ヘバ、法律上半死ノ人デアアル、半バ死シタ人デアアル、斯ウ云フ者ヲ社會ニ於テ認メルト云フコトハ、甚ダ面白クナイ、御帝室ノ事ヲ引クハ恐

レ多イコトデアリマスガ、歴代ノ天皇ニ置カセラレテモ、諸般ノ事情ヨリ位ヲ御スベリニナツタコトガアリマス、是ハ御幼少ノ時ニ御スベリニナツタノモ

アリマセウケレドモ、又春秋尙ホ富マセラレルニ拘ハラズ、位ヲ御スベリニナツタ事ガアル、然ルニ今日ノ皇室典範ニ於テハ、斯様ナコトハナイノデ、我

我ハ臣民トシテ感佩ノ外ナイ、天皇ハ天皇デアアル、百年ノ後御祖先ト共ニ高天原ニ御歸リニナレバイザ知ラズ、此世ニ在ラセラル、間ハ、天皇ハ天皇デア

アッテ……

○委員長(大岡育造君) 此章ニ隱居ノ事ハ見ヘマセヌガ

○(山田喜之助君) 戸主權ヲ認メマスカラ、立法ノ精神立法ノ主意ヲ聞クノデアリマスカラ、反對ノ意見ヲ述ベナケレバ分リマセヌ、反對ノ意見ヲ述ベ

テ其外ニ理由ガアルカナイカラ聞クノデアリマス

○委員長(大岡育造君) 此箇條ニ付テ御質問ノ要點ダケヲ、又御異議ノアル點ハ外ニ御異議ヲ御提出ニナッテ宜シ

○(山田喜之助君) 異議ハアリマセヌガ、大体ニ付テ私ハ質問シタイ、戸主ハ親權ト衝突シテハイカヌト云フコトヲ申シマスノデ……ソレデ、帝室ニ於

テモ、既ニ左様ナ譯デアリマシテ、中々帝室ノ御用ト云フモノハ、我々匹夫ノ如クデハナク、御煩勞ノコトデアリマスガ、兎ニ角途中デ位ヲ御スベリニ

ナルト云フコトハ、國務ノタメニモ或ハ日本臣民ニ取テモ不利益デアリマスカラ、天皇ガ御高齡ニ御ナラセラレテモ、皇室典範ニ於テ左様ナッテ居ル、

又女戸主ノコトデアリマスガ、日本ニ先例ガ澤山アリ、外國ニモアリマスガ、

併シナガラ、此婦人ガ戸主ニナルト云フコトハ、婦人ノ先天的性質ニ於テ宜シクナイ、先天的ノ性質ヲ害シマス、ソレデ立君獨裁ノ時デモ立憲政体ノ時デ

モ同シデアアル、現ニ最モ習慣古例ヲ重シゼラル、帝室モ、女帝ト云フモノハ、皇室典範ニ御廢シナツタ、此ノ如ク帝室ノ御典例ト雖モ、日進ノ必要ニ反

スルトキハドシ御改メニナル、隱居ヲ認メタガタメニ、親タルモノガ子ノ戸主權ニ服從シナケレバナラヌト云フハ、風俗ヲ亂ル結果ヲ來スニ至リマ

ス、戸主ト云フモノハ、尊屬親デアアル、然ルニ隱居ト云フ制度ヲ認メルタメニ、尊屬親ガ卑屬親ノ配下ニナルト云フコトガ出來ル、是ハ亂倫ノ極デアアル、

又夫ガゴザイマセヌ以上ハ戸主トナルベキコトハ場合ニ於テ已ムヲ得ヌデアリマシテ、又習慣モソレニナツテ居リマスガ、併シナガラ、夫アルニ拘ハラ

ズ、婦人ガ戸主ニナルト云フコトハ、夫ノ權利ト云フモノガ立タヌ、是ハ社會秩序ノ上ニ於テ必要デアアル、又風俗ノ上カラ言ッテモ、又徳義ノ上カラ言ッ

テモ、昔ヨリノ慣例ヲ改メテ、批鷄ガ教ヘテ牡鷄ガ時ヲツクルニ満足セズシテ、批鷄ヲ廢シテ牡鷄ガ直チニ時ヲツクルト云フコトニナルト、風俗ノ上カ

ラ言ッテモ面白クナイ、併シナガラ必要ガアルト云フコトナラバ、是亦別ノ問題デアリマスガ、決シテ必要ハナイト思ヒマス、夫ガ死ンデ他ニ相續スル

者ガナケレバ……

○(小室重弘君) 山田君ノ御發言ハ、質問デナク、立論ト思ヒマスガ

○(山田喜之助君) 無論立論デス

○委員長(大岡育造君) 此委員會ニ於テハドノ規則ヲ適用スルト云フコトガアリマセヌカラ、抑強クヤラレルト、ソレヲ押ヘル權力ハ持チマセヌガ、先

キヲ急グ時デアリマスカラ、右ノヤウナコトハ、質問ト認メヌトシテ宜カラウカ否ヤ

○(山田泰造君) 簡單ニ願ヒタイ、二三言デ濟ムコトヲ、批鷄牡鷄ノ講釋マデ、聞イテハ叶ヒマセヌ

○(山田喜之助君) 御注意ハ謹ンデ承リマス、併シ議論歴史ヲ抜クコトハ出來マセヌ、決シテ此ノ如キ夫アル婦人ヲ戸主ニスルトカ、親ヲ家族ニスルト

云フコトハ面白クナイ、一例ヲ舉ゲマスレバ、「家族カ婚姻又ハ養子縁組ヲナスニハ戸主ト同意ヲ得ルコトヲ要ス」息子ガ戸主デアッテ其親ガ後妻ヲ茶飲

友達トシテ迎ヘル、是ハ親ガ子供ニ相談シマセウガ、法律ニ於テ戸主ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌト云フト、親ガ妻ヲ迎ヘルニ小供ノ承諾ヲ得ナケレバナ

ラヌト云フコトハ、實ニ亂倫ノコト、思フ、ソコデ其制裁トシテ之ニ背ケバ、「戸主ハ婚姻又ハ養子縁組ノ日ヨリ一年内ニ復籍ヲ拒ムコトヲ得」トアリマ

ス、サスレバ子ハ親ヲ離籍サセルコトガ出來ル、斯クノ如キ次第デアッテ、一向衝突ト云フモノヲバ避ケ得ベキニモ拘ハラズ、之ヲ避ケズシテ、此二ツノ

モノヲ許シタノハ、他ニ立派ナル理由ガアラウト思フ

○政府委員(梅謙次郎君) 簡單ニ御答致シマスガ、隱居及ビ入女ノコトニ就テハ、現在ノ慣習ニ於テ認メテ、ソレニ依ッテ斯ウスルガ相當ト思フノデ、

最モ矯メ得ラル、ダケハ矯メテ是レダケ存シテ置クト云フコトニシマスレバ、今日法律ヲ強制シテハ、子ガ親ノ婚姻ヲ許可スル又婚姻ニ同意スルコトハ餘程變ナコトデ亂倫ニナラウト云フ御話デアリマスガ、現在ハソレ所デハナク、子カラ居出ガナケレバ、婚姻ハ出來ヌ、本統ノ婚姻ハ子ガ同意センケレバ成立ハセヌ位デ、餘程現在ヨリハ緩ヤカニナツテ居ル、今日ノ場合デハ先ヅ適當ノ事ト認メテ居リマス、又帝室トノ御比較モアリマシタガ、帝室ト吾々ノ家トハ、自カラ重キ段階ガアルコト、思フ、故ニ帝室ト吾々ノ家ト比較スルコトハ出來ナイコトデ、多少ノ相違ハアルベキコト、思フ

○(藤澤幾之輔君) 私ハ外ノ委員會ニ出席シテ居ッテ、遅レテ參ッタカラ、重複ノ質問ヲ致スヤウニナリマスガ知レマセヌガ、一寸不明瞭ノ廉ガアリマスカラ、御尋ネヲ致シタイ、ソレハ七百三十四條其後段「前條第一項ノ規定ハ懐胎ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス」トアリマスガ、是レハ懐胎ノ始ニ遡ッテト云フコトデアリマスカラ、矢張養家ニ入ルト云フデアリマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 其通り

○(藤澤幾之輔君) 其次ノ項ニ就イテ參考書ノ理由ヲ見マスルト云フト「然リト雖トモ養子カ離婚ニ依ッテ養家ヲ去ルニ拘ラス若シ同時ニ離婚ノ意ナキトキハ妻モ又從ッテ其家ヲ去ルヘシ」云々トアリマスガ、此法律ノ精神カラ申セバ養子ヲ離別スル場合ニ於テ、養子ガ妻ニ對スル離縁ヲ承諾シナカッタトキハ、其家ノ娘モ矢張持チ去ラル、ト云フ結果ニナリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ妻ノ方デ默シテ居レバサウ云フコトニナリマスガ、妻ハソレヲ理由トシテ離婚ヲ求ムルコトガ出來ル、若シ其場合ニ承諾セズトモ、ソレハ裁判所ヘ訴ヘ離婚スルコトガ出來ルデアリマス

○(藤澤幾之輔君) 是マデノ習慣ニ依レバ、養子カ養家ヲ離縁サレタ時分ニハ、ソレト共ニ夫婦ノ關係ヲ斷ツコトガ裁判例等ニアルガ、サウスルト途ハ開ケテ居ルヤウナモノ、兎ニ角是マデノ慣習トハ違ヒマスルヤウナコトニナルト思ヒマスガ、如何デゴザイマス

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ現今ノ所デハ裁判例ハアリマセウガ、ハッキリ致シテ居ラヌデアリマス、ソレデ元來此養子縁組ト云フ事ト、婚姻ト云フ事ハ、別々ニ見得ラル、コトデアアル、又多クノ場合ニ於テハ、慣習上別々ニ見テ居ル、御承知ノ通り、養子ハ養家ニ居リナガラ、其妻ヲ離婚スルコトガ出來マス、サウ云フ譯デアアルカラ、此離婚ト養子縁組ハ法律上別ノモノト見

マスガ、併シ養子ヲ家女ト縁組ヲシタ場合ナドニ於テハ、養子デアアルカラ、其妻トナル、其場合ニハ之ヲ離婚ヲスルトキハ、ソレヲ理由トシテ離婚ガ出來ルト云フコトニスレバ、雙方一所ニナリタイトキハ、一所ニナレヌ、ナリタクナイトキハ離婚ガ出來ルト云フコト、極メテ便利ノコトニ思フデアリマス

○(藤澤幾之輔君) 矢張同項ニ就テ御尋致シマスガ、養子夫妻共ニ其養家ヲ

去リマシタ時分ニハ、其子ガ矢張去ッタ所ノ父ノ家ニ居ルコトニナツテ居ルヤウデスガ、是亦是マデノ習慣ト違フヤウニ思ハレマスガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(梅謙次郎君) 私共ノ取調ベマシタ所デハ、現今ノ慣習ガ斯ウナツテ居ルデアリマス

○(山田泰造君) 七百三十六條ニ「女戸主カ入夫婚姻ヲ爲シタルトキハ入夫ハ其家ノ戸主トナル」先ヅ習慣デ法律モ斯ウナツテ居ルカラ、別ニ怪ムニ足ラヌガ、但書以下「當事者カ婚姻ノ當時反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限リニアラス」其理由書ヲ見ルト、明治六年ノ太政官ノ布告ガアリマス、但書ヲ全ク理由書ニ引用サレタガ、太政官ノ布告ニ反對デ、太政官布告ノ現行法律ハ反對ノ意思ヲ表示スルコトヲ許ルサヌト云フ意思デアリマス、然ルニ此民法ヲ制定セラル、ニ當ッテ、斯ノ如キ規定ヲ私ガ見マスルト、布告ノ意思ニ戻ルカト思ヒマスガ、斯ノ如キコトヲ設ケラレタルハ、何等ノ必要アツテ之ヲ設ケタルカト云フガ、一ツソレカラ是ハ如何ナル場合ヲ指シタルモノデアアルカ、其例ヲ舉ゲテ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 是モ矢張慣習ヲ取調ベマシタノデアリマスガ、成ル程布告ニハ仰ノ通りデアリマスガ、今日ノ實際ニ於テハ悉ク但書ノ事ヲ認メテ居ル、其例ハ澤山アリマスガ、唯今一寸其書類ヲ持ッテ居リマセヌカラ……

○(木村格之輔君) 七百四十一條ニ就テ伺ヒタイガ、此第一項ニ依ルト、婚姻又ハ養家及ヒ實家ノ戸主ノ同意ヲ得ルコトガ原則トナツテ居ル、之ヲ戸主ノ方ノ八十七條ニ對照致シマスルト、同意ヲ得タト云フ證書ヲ、戸籍吏ニ添ヘテ出サナケレバナラス、故ニ同意ヲ得タト云フ同意ヲスルト云フコトガ、即チ戸籍ニ入ル、一ノ要素トナツテ居ルコトハ明白デアリマス、然ルニ七百四十一條ノ第二項ニ依リマスルト「同意ヲナサ、リシ戸主ハ婚姻又ハ養子縁組ノ日ヨリ一年内ニ復籍ヲ拒ムコトヲ得」トアリマス、既ニ第一項デ他家ニ入ルコトハ、婚家養家實家ノ戸主ノ同意ヲ得ナケレバ戸籍ニ登錄スルコトガ出來ヌノデ、其登錄スルコトノ出來ヌ場合ニ、第二項ニ於テ復籍ヲ拒ムコトガ出來ルト云フ條ヲ設ケタノハ、殆ンド矛盾スルヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ矢張り原則ナノデ、同意ヲ要スルト云フコトニナツテ居リマスガ、併シ本人ガ是非婚姻ヲシタイ、是非養子縁組ヲシタイト申シマス、其二項ノ次第デ、戸籍吏ハ居出ヲ拒ムコトハ出來ヌノデアリマス、此七百七十六條ノ但書及八百四十條ノ第二項ニモ明文ガアリマス

○(木村格之輔君) マダ分リマセヌガ、少シ——宜シウゴザイマス、唯今調ベテ……

○(關信之介君) 私モ矢張七百四十一條ニ就イテ質問ヲ致シタイノデスガ、「婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家ニ入リタル者ガ更ニ婚姻又ハ養子縁組ニ因

リテ云々トアリマスガ、是ハ日本ニハ未ダ曾テ斯様ナ習慣ハナイコト、思ヒマス、婚姻ニ因テ他家ニ入ツタ者ガ、再タヒ他家ノ養子ニ行クト云フヤウナコトハ、日本ニハ是マデ大抵無イ所ノ例デアツテ、是ハ風俗ニモ關スルヤウナコトデアリマスカラ、ドウ云フ必要ガアツテ、之ヲ御設ケニナリマシタカ、御尋ネ致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) 御尤デアリマス、此中デ養子縁組ノ方ハ、直チニ他家ニ入ルコトヲ慣習ガ認メテ居リマスガ、婚姻ニ因テ他家ニ入ツタノハ、直チニ他家ニ入ルト云フ慣習ハ認メマセヌノデ、現行ノ慣習法デハ、一旦實家ニ復籍シテ、而シテ後ニ他ニ行クト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ法典調査會ニ於キマシテモ、或ハ其儘ニ致サウカト云フコトモ評議ヲ致シマシタケレドモ、實ハ今日デハホンノ形式ダケニナツテ居リマスコトデ、願出レバ皆ナ許サル、ノデ、是ハホンノ手數ダケデアリマスカラ、ソレナラ態々實家ニ歸ツテ又行クト云フヤウナ、動モスレバ手數ヲ殖ヤスト云フダケノコトニナルノデ、斯ウシテモ一向害ノナイコトデアルト云フノデ、名義ハ從來ノ慣習ヲ破ツタコトニナリマスケレドモ、實際ハ盛ニ行ハレテ居ルコトデアリマスカラ害ハナイト云フノデ、直チニ他家ニ入ルコト致シマシタガ、其代リニ戸主ノ届ケガ出デナケレバナラヌト云フコトニ致シマシタ

○(關信之介君) サウスルト、先キノ婚姻ガ解ケヌデモ、更ニ出來ルヤウニナリマスガ、是ハ先キノ婚姻ヲ解イテ再ビト云フ意味デセウカ、其意味ガ文字上デハ分リマセヌガ

○政府委員(梅謙次郎君) ツレハ法律デ他ニ訓令ノアリマスコトハ一々斷ハリマセヌデモ出來ヌノデ、重婚ハ禁ジテアリマスカラ、無論重婚ハ是デ認ムルノデハアリマセヌノデ、婚姻ノ解除ノ場合ニ限ルト云フコトハ、此所ダケニ特ニウタハヌデモ宜イト考ヘマシタノデアリマス

○(北島傳四郎君) 私ハ此事ニ就テ自分ノ希望ヲ一ツ述べ、且ツツレニ併セテ質問モ致シマスガ

○委員長(大岡青造君) ドウカ質問ダケニ願ヒタイモノデスガ

○(北島傳四郎君) サウデハアリマセヌ、私ノ希望ハ發議スルニ就テノ希望デアルガ、前カラモ言フ通り、此事ニ就イテハ、社會ノ原素カラ改造スル法律デアリマスカラ、十分我々ハ質問ヲ致シタイ、又詮議ヲシタイト云フ考ヘヲ持テ居リマスカラ、以後ハ成ルベク委員長ハ我々ヲシテ十分意見ヲ吐カセ、又取調ベル簡條ガアレバ、取調ベルト云フヤウナ餘地ヲ與ヘテ下サルヤウニ願ヒマス、私ノ希望トシテ述べテ置キマス、ツレカラ、第一是レガ私ハ之ガ一番ドウモ是マデノ習慣ヲ破ルダラウト思ヒマスノハ、前ニ申シタ女戸主ノ點デス、女戸主ト隱居ノ制ト云フコトヲ言ハレタガ、成程隱居ノ制ハ行ハレテ居ツテ、其害ガアラウガ無カラウガ、兎ニ角行ハレテ居ツタノテ、是マデ年ヲ老タ人ガ隱居ヲシテ半生ヲ樂ニ果テルト云フコトモ隨分宜イ制ト思ヒマスガ、今マデ何モ無イ女戸主ト云フモノハ、政府委員ノ説明ニ依レバ、尼將軍

ナドヲ引カレマシタガ、尼將軍ガ夫ノアツタ時分ニ之レガ……

○政府委員(穗積陳重君) 左様デハゴザイマセヌ、尼將軍ノ時代ニ女戸主ガ認メラル、制ガ、北條時代ニアリマシタト云フコトデス

○(北島傳四郎君) 假令ツレガアツタニシタ所デ、僅カニ一二ノ例ヲ以テ今日之ヲ認ムル法律ノ必要ハナイト思ヒマスルシ、又明治初年以來アツタ所ガ、或ハ惡イ下等社會ニ行ハレタコトデアラウト私ハ思フ、之ヲ以テ一般ノ風俗トシテ法律ニ造ラシム宜イト思ヒマス、斯ノ如キ惡イ風俗ハ撲滅スル方針ヲ採ラレタラ宜カラウト思フノデアアル、兎ニ角政府委員ノ説明デハ、斯ウ云フ習慣ガアルト云フノデ、僅カニ一二ノ例ガアルト云フト習慣ガアルト云フノデ頭壓シニ押付ケルヤウナ御説明デアリマスガ、サウ云フ習慣ハ何件アツテドレ程アルト云フ統計上下ノ位ノモノガアルト云フコトヲ御説明セラレ、其説明デモマダ足りヌト思ヘバ、我々が手ヲ別チテモ其習慣ヲ取調ベタイ考ヘデアリマスカラ、先ヅ何年カラ何年マデニ、女戸主ト云フモノハ何人アル、何年ニ何人アルト云フコト、ツレカラ男戸主ニ比較シテ何分ノ一二保ツテ居ルト云フコトヲ説明セラレテ、是非之ヲ許サンケレバナラヌ、程ニ習慣ガ進ンデ居ルト云フコトナラ宜イ、ツレカラ階級ニモ因ルコトデアラカラ、ドウ云フ階級ニハナシト云フノ階級ニハナシト云フ詳細ナル説明ヲ得タイノデアアル、今マデ我々ノ見ル所デハ習慣ノナイト思フコトガ出來ルノデ、現ニ我々ハ卑ノ身分デアラカラ、女房ノ方ニ戸主ノ權ガアツテ、我々ハ家族ダト云フヤウニ、無權力者ニナルカモ知レヌ、自分ノ利害ニモ關係スルトデスカラ……

○政府委員(梅謙次郎君) 日本國中ニ幾人アリマスルカ、其邊ノ詳細ナル調査ハ行届イテ居リマセヌノデ、唯今其委シイ説明ヲスルコトガ出來マセヌノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、極新シイ例ヲ申上ゲマスト、明治二十三年一月ノ一日ニ司法省ノ指令ニアツタ記憶シテ居リマス、古イ例デハ、太政官ノ達シニモアツタト思ヒマスガ、民間ニ於テ女ノ戸主ニナツテ居ル家ハ幾軒デアルカ、調査ガ行届キマセヌノデシタ、唯行政上司法上ノ問題トナツテ現ハレ出マシタモノヲ出シマシタノデ、數ハ無論少ナイノデスガ、其問題ノ起ツタモノニ因テ、今日ドウ云フ有様デアアルカト云フト、大抵見ルコトガ出來ル積リデアアルノデゴザイマス

○(藤澤幾之輔君) 此ノ七百四十三條ニ就テチョット御尋ネヲ致シマスガ又ハ廢絶シタル本家分家同家云々トアリマスガ、此ノ同家ト云フノハ戸主ノ家ヲ指シタノデスカ、外ニ同家ト云フ名稱ヲ付スル家ニ外ニアルノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 此同家ト申シマスノハ、本家分家デナイ所ノ矢張同始祖ノ家デス、本家分家ト申シマスノハ、甲ノ家カラ別レテ乙ノ家ガ出來ル、サウスルト云フト、甲ガ本家デ乙ガ分家デアリマス、所ガ甲ト云フ家カラ同時ニ乙丙ト云フモノガ、各々分家シテ出マスト、乙ト丙ノ間ハ本家分家ノ關係ハナイ、之ヲ同家ト申シマス

○(谷澤龍藏君) 此七百三十二條ノ家族ハ、其氏デスナ、家族ハ一樣ニ戸主ノ氏ヲ唱ヘルノデアリマスカ、ソレカラモウ一ツハ、七百三十六條ニ就テ御尋ネヲシタイ、全体女戸主ト云フコトヲ禁ズルト云フハ、士族ノ方ノ重モニ家督相續ト云フコトカラ起ツタノデ、民間ノ方デハ別段入夫ヲシタナラバ、其夫ニ相續ヲサセナケレバナラヌト云フコトハナイ、寡婦ナドガ夫ヲ迎ヘルト云フコトニナルト、大變家事ガ不取締ニナルト云フコトガアル、是ハ過日議場デ御尋シタトキニ、反對ノ意思ヲ表示シテアル外ハ、總テ入夫ハ直ニ戸主ニスルト云フ意味合デアッテ、私ハ若シ中間ノ分ハドウデアアルカト言ツタラ、中間ノ分ハ悉ク其順序ニ依テ直チニ戸主トスル反對ノ意思ノアルモノヲ除ク外ハ、悉ク戸主トスルト云フコトデアリマシタガ、本員ノ第一ニ疑フハ、此習慣ハ殆ンド民間ノ方ニハナイコトダラウト思フ、女戸主ヲ禁ジテ居ルト云フコトハ民間ニハナイ、ソレデ若シ反對ノ意思ノ明カナモノ、外ハ、女戸主ヲ禁ズルト云フコトガアツタナラバ、其養子ノ性質ヲ能ク見ルマデハ、戸主ヲ讓ラナイト云フ考ヲ持テ夫ヲ迎ヘタ所ガ、ソレガ忽チ入夫シテツレヲ戸主ニシナケレバナラヌト云フコトハ、甚ダ困ル場合ガアルダラウト思フ、是ハ本員ノ考ヘデハ、士族ノ方ノ習慣ヲ取誤ッテ來テ居リハセヌカト云フ疑ガアル、又第二ニ若シ斯ノ如キコトヲシタナラバ、隨分中間ノモノハ困ルコトニナリハシナイカ、此事ニ就イテ御取調ニナツタコトガアルナラバ伺ヒタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 第一ノ御問ハ御説ノ通り、是ハ次ノ節ノ首メノ箇條ニアリマス通り、「戸主及ヒ家族ハ其家ノ氏ヲ稱ス」一家ヲ成シテ居ルモノハ、戸主若クハ家族ハ總テ其氏ヲ稱スヘキ者ト致シマシタ、是ハ日本ノ習慣ニ適シテ居ルト信ジテ居リマス、唯近來支那ノ習慣ニデモ依ツタ者デアリマセウカ、妻ハ生家ノ氏ヲ稱スルト云フコトガ少クモ戸籍官吏ノ間ニ行ハレテ居リマス、ソレニ就イテ達シカ何カアリマシタ所ガ、是ハ支那デハ兎モ角、日本ノ慣習ニ反シテ居ル、證據ハ戸籍面ハ生家ノ氏ヲ稱スベシトナツテ居ラフコト思フ、加之此恩給局ナドへ出マスル書類ニ、寡婦ガ恩給ヲ請求シテ參リマストキニ、多數ノ場合ハ夫ノ姓ヲ書イテ參リ、其マ、恩給證書ヲ下附シタルモノモアリ、或ハ戸籍官吏ガソレデハイケナイカラト言ッテ、態々書直サセルト云フコトモアリ、之ヲ以テ考ヘテ見テモ、日本ノ一般ノ慣習ト云フモノハ、妻ハ夫ノ家ニ這入レバモウ夫ノ家ノモノトナツテ了フト云フノガ、日ノ家族制度デ、生家ニ屬シテ生家ノ氏ヲ稱スベキモノデナイト認メマシタ、現在戸籍官吏ノ取扱ッテ居ル所トハ違ヒマスケレドモ、「戸主及ヒ家族ハ其家ノ氏ヲ稱ス」トシテ、皆夫ノ氏ヲ稱スルコトニ致シマシタ、ソレカラ第二ノ御問ハ吾々ノ取調ベタ所デハ、武家ノ慣習ガ平民ノ慣習ニマデ影響シタモノトハ信ジマスケレドモ、兎ニ角多數ノ地方ニ就テ申シマスト云フト、入夫ノ場合ト雖ドモ、夫ノ方ガ戸主ニナルト云フ方ガ多イヤウデ、ソレハ太政官ノ

布告ニモ認メテアル位デアルト認メマシタノデ、ソレデ此七百三十六條ノ本文ノ通りデナケレバ、却テ今日ノ慣習ニ反シハシナイカ、現ニ唯今二三ノ御方ガ但書ノアルノデサイモ御攻撃ノアル位デス、其方ガ多數ノ地方ノ慣習ニ適ツテ居ルモノト認メマシタノデアリマス

○(谷澤龍藏君) 唯今ノ氏ノコトヲ伺ヒタイ、是ハ外國ノ例ナドモ御取調ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 歐羅巴各國ハ大抵皆サウナツテ居リマス、即チ婚姻ノ一ノ效力トシテ、民法ニ書イテ居ル所ガ澤山アリマス

○(關信之介君) 此七百三十八條ノ第一項ニ「婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家ニ入りタル者カ其配偶者又ハ養親ノ親族ニ非サル自己ノ親族ヲ婚家又ハ養家ノ家族ト爲サント欲スルトキハ云々」トアリマスガ、此文章ニ依テ見マスルト云フト、親族デアリマスレバ、承諾ヲ得レバ、其縁組ヲシタ家ニ連レテ行クコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ養家ヲ去ルトキニハ、連レテ行クコトガ出來ナイヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ意味デアリマスガ、第一項ト第二項ト矛盾スルヤウニ考ヘマスガ……

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ其婚家養家ノ外ニ家族ヲ取ルコトハ、是ハソノ自分ノ出タ家デアリマスカラ、肉親ノ親モアリ、兄弟モアリ、又或ハ昇屬親モアリマスガ、實ハ第一項ノ場合ハ昇屬親ハ稀デアリマス、所ガ、第二項ノ場合デゴザリマス、是ハ元來他家カラ婚姻或ハ養子ニ其家ハ參リマスカラ、肉親ノ家族ト云フモノハ、其所ニ居リマスノハ、多クハ昇屬ノ外ハナイ筈デアリマス、ソレデ箇條ナ規定ヲ致シマシタガ、併シドウカシタ特別ノ理由ニ依ツテ、若シ直系昇屬デナイ、他ノ親族ガ婚家若クハ養家ニ居リマスレバ、ソレハ容易ク又元ノ家ニ連レ還ルコトガ出來マス、七百三十八條ノ規定ニ據リマスルト、普通ノ場合ニハ、唯戸主ノ同意サヘアレバ、宜イガ、其外ニ尙ホ或ハ親ノ承諾ガ要ルトカ、或ハ配偶者ノ承認ガ要ルトカ云フ、餘計ナ條件ガ變ツテ居リマス、決シテ禁ジテ居ルノデハゴザリマセヌ

○(沼田宇源太君) 先程野澤君カラ質問モアリマシタガ、私生兒ノ事ニ就イテ、一ツニツ伺ヒマスガ、此民法デハ、無論妾ハ認メテ居ナイ、妾ト云フ者ハ認メテ居ラヌ所ガ、此子供ノ方ニ參リマスルト、私生兒ト云フ者ヲ認知シタ場合ニハ、庶子ト云フ私生兒ヨリ一段位ノ高イ所ノモノニナル、サウシマスルト、妻君ト云フ者ノ外ニ、權妻ト云フ者ハ認メマセヌガ、子供ノ方ニナルト、子供ノ外ニ權子ト云フモノヲ認メテ居ルヤウナ關係ヲ持ツテ居リマス、是レハ間接ニ妾ト云フモノヲ認メテ居ルト云フ法律ノ意味ニナツテ居ルカ、其所ヲ第一ニ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツニハ、此七百三十五條ノ第二項ニ「私生子カ母ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ一家ヲ創立ス」トアツテ、之ヲ八百二十五條ニ照シマスルト、私生子ヲ父又ハ母ニ於テ之ヲ認知スルコトヲ得ルト、斯ウナツテ居ル、サウシテ父ガ認知シテ、庶子ト一等位ノ高イモノニナリマスガ、母ノ認知シタモノハ、矢張私生子デアアル、母ガ認知シナイ

場合ト云フガ、母カラ生レナイ子供ト云フモノハ如何ニ私生子デモアリマセヌカラ、現ニ子供ト云フガアル其事柄ガ、既ニ母ガ認知シテ居ル事柄ト考ヘマス、サウスルト、母ノ認知シナイ子供ハナイ道理ト考ヘマス、此節ノ中ニハアリマセヌガ、母ノ認知ト云フコトガアリマス、サウシテ七百二十五條ニハ、「母ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ一家ヲ創立ス」トアルガ、母ノナイ子供ト云フ者ガ、或場合ニアリマスカ、サウシテ矢張此項ニハ「母ノ家ニ入ルコトヲ得ナイ時ハ一家ヲ創立ス」トアリマスガ、赤ン坊ガ自分ニハ喰フコトハ出來マセヌ、誰ガ扶養ノ義務ヲ負フテ之ヲ育テマスルカ

○政府委員(梅謙次郎君) 第一ノ御問ハ、御尤ノ御問デアリマシテ、ソレハ素ヨリ時勢ノ移リ變リニハ多少特例ガ出來テ參ル所デ、又昔妾ヲ認メテ居ル習慣ガ、今ハ半分存シテ居ル、何故半分ト云フカト云フニ法律上妾ハ認メナイケレドモ、事實ハ類似ノ者ガ存シテ居ル、ソレカラ致シマシテ、昔妾ト云フ者ハ家ニ這入テ居ルタケレドモ、法律ガ認メナクナル以上ハサウ云フモノハ家ニハナイ、サウシテ見マスルト、其妾ト他ノ者ト法律ハ區別スルコトハナイ、昔ハ有名ノ人デモ、例ヲ申シマスルト、幾ラモアリマスガ、徳川家康ノ子トカ或ハ大名ノ子トカ云フ者ノ中ニ、庶子トカ云フノガ澤山アル中ニ、始メヨリ妾ト云フ名義デ居ル者ノ子ト、サウデナイ者ノ子ト二種アル、併シ一般ニ認メテ父ノ方ニ取リマスルト、矢張庶子トナツテ、越前ノ國ヲ貫フトカ云フコトニナリマス、デアリマスカラ、此日本ノ慣習カラ、父ガ認メタ子ハ、幾分カ嫡出ニ及バヌ子ハ勿論ナリト雖ドモ、矢張父ノ子ニ違ヒナイ、父ノ子デアル以上ハ、ソレ相應ノ待遇ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウニスルノガ、日本ノ慣習ニ適スルト云フノデ、是ハ多少議論モアリマシタガ、以前モ認メマシタガ、今度ノ民法モ認メルコトニナリマシタ、庶子ト云フハ、父ガ認メタルノデ、妾腹ノ子ト云フコトハナイノデ、サテ此私生子ト單ニ云フナラバ、是レハ多ク場合ニ於テハ、母ダケ知レテ居リマスケレドモ、例ヘバ棄兒ノ如キハ、父モ母モ分リマセヌ、サウ云フ者ハ何處ヘモ入レヤウガナイカラ、一家ヲ創立スル入レベキ家ガナケレバ、新タニ家ヲ設ケサセル外ハナイ、去リナガラ、赤ン坊ガ一家ヲ創立致シマシテ、實際ニ於テ其家ヲ自ラ維持シテ參ルコトハ當分ノ間ハ出來マセヌ、是ハソレ、ソレ育兒ノ方法ナドモ今日ハ無論一ト通り規則ダケハ備ハツテ居リマスガ、追々將來ニ於テ其制度ガ備ハリサヘ致シマスレバ、箇様ナモノハ止ムヲ得ズ、育兒院ニテ育テルコトニナリマス

○(沼田宇源太君) 今ノ「私生子ハ母ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ一家ヲ創立ス」ト云フコトニ就イテ、棄兒ノコトヲ引證サレマシタガ、ソレハ少シ違フカト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 棄兒バカリデハアリマセヌ、棄兒ハ例ニ云フタノデ、例ヘバト云フテ申上ゲマシタ

○(沼田宇源太君) サウ云フ場合ハ七百二十三條ノ第三項ノ「父母共ニ知レ

サル子ハ家ヲ創立ス」トアル、此場合ガ澤山ダト思ヒマス、棄兒デモ立派ナ人ノ嫡出子カモ知レナイ、棄兒カ嫡出カ、區別スルコトハ出來マセヌ、其所ハドウ云フ……

○政府委員(梅謙次郎君) 七百三十五條ノ場合デ、私生子ト申シマスノハ無論後トカラ母ガ認メテ以テ始メテ私生子ト云フコトニナリマス、七百三十三條ハ分ラヌトキノコトヲ云ヒ、七百三十五條ハ始メハ分ラヌガ、後トカラ認メルノデ、又母ノ無イ子ト云フモノハアリ得ベカラサルモノデアルト云フ御質問デアリマスガ、ソレニ對シテ御答デアツタ、素ヨリ七百二十五條第三項ハ棄兒ノ場合デナイ後トカラ母ガ認メタ場合或ハ始メカラ母カ認メテ居ル場合デモ戸主ノ同意ガナケレバ、母ハ分ラヌ其時ハ矢張一家ヲ創立致シマスガ、此場合ニハ誰モ養フモノガナイ母ハ扶養ノ義務ヲ負フテ居ルカラ育テヘキ者ハ矢張母デアリマス

○(沼田宇源太君) 其時子供ノ住居ハ何所ニナリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 住居ハ事實上居リマス所ガ住居デス

○(沼田宇源太君) サウスルト、母ノ家ニ入ルコトヲ得ズト云フノハ、是ハ戸籍面ニ這入ルコトガ出來ナイノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 形カラ見ルト、戸籍面デアリマスガ、民法ノ家ハ無形ノ家デアリマス、戸主家族ヲ以テ創立シテ居ル一ノ團體デアル

○(藤澤幾之輔君) 先刻ノ關係ノ所デスガ、先刻七百三十四條ニ就イテ伺ヒマシタ所ノ御挨拶ニハ、養子離別ノ場合ニ於テ、其妻トナツタモノカラ離婚ヲ求ムルコトガ出來ルカラ問ノ如キ弊害ハナイト云フコトデアリマシタガ、然ルニ離婚ヲ求メルコトノ出來マスノハ、第八百三十三條ニアリマス通り、夫婦ノ一方ニ限ル、然ルニ此一方タル家女ニ於テ離婚ヲ望ムバ、勿論訴ヘテ起スコトガ出來マスケレドモ、離婚ヲ望ミマセヌ時ニ至ツテハ、訴ヘテ起スコトガ出來ナイ、サウ致シマスト云フト、折角家ノタメニ計ツテ、家女ニ養子ヲ致シマシタ場合ニ當ツテ、事故ガアツテ離別ヲ致シマシタトキニナツテ、家女ヲ用ヒザル結果ヲ生シマス、日本ノ是マデノ慣例ニ依リマスレバ、先キニモ述ベマシタ通り、左様ナ場合ニ於テ、當然離別サレタルモノトシテ、其家女ハ家ニ殘リ、其一家ト云フモノハ其家女ニ對シテ、更ニ養子ヲ迎ヘテ一家ノ將來ヲ計ルコトガ出來ル、ドウモ此邊ハ是マデノ習慣ニ確カニ悖ルヤウニ思フノデアリマス、サウシテ救濟法ハ定メラレナイカト思ヒマスガ、其邊ニ就イテモウ一應御伺ヒテ致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) 或ハ其點ダケハ違ヒマス、違フコトヲ知リツ、矢張斯様ニ規定致シマシタ、ソレハ前回ニ説明致シマシタ通り、今日デハ婚姻ノ關係ト云フモノハ、當事者間ノ關係ノ如ク見ズシテ、戸主ト戸主ノ關係ノ如ク見テ居ル、夫レ故ニ本人ノ承諾シナイモノヲ無理ニ婚姻サセルコトガ出來ルト同時ニ、本人ガイヤト云フノ無理ニ離スコトガ出來マス、是ハ今日ノ時勢ニ至ツテハ最早此儘拾テ置クコトハ出來ヌコトハ分ツテ居リマス、

或ハ公ケノ婚姻ヲ許サンケレバ、ソレガ私通ノ原因ニナツタリ、又法律上夫婦デナイト云フコトニ表テ向キシテモ、實際ハ私通ニナラナケレバ、ソレガ極端ニ申シマス、身命ニ係ルコトガアリマス、ソレガ人情ニ悖ツタコトデ、法律ニ出ルコトニナリマスレバ、サウ云フコトデハナラヌト云フノデ、元ノ法典デハ、昨日説明致シマシタ通りデスガ、婚姻ハ夫婦ノ間ノ關係ニ於テ婚姻ヲスルニ就イテ雙方ノ承諾ガナケレバナラヌト同時ニ、婚姻ヲ離スト云フコトモ、是モ本人等ノ意思ニ反シテ離スト云フコトハ致サヌ、本人同士ノ協議ガ、然ラサレバ一方ガ相當ノ理由ヲ附シテ離婚ヲ求メナケレバ、當人同士ガ承諾ヲシナイモノヲ無理ニ離スト云フコトハ、法律ガ認メヌト云フコトニ致シマシタカラ、此點ダケハ仰セノ通り習慣ヲ改メタト申シテ宜カラウト思ヒマス

○(北島傳四郎君) 私ハ先キカラ始終心配シテ居ルノハ、女戸主ノコトデアリマスガ、政府委員ノ説明デ見ルト、慣習ガアルノデアアル、確カナ慣習ダト云ハレル、私ハ慣習ノ善良ナルモノハ、社會ノ造ツタ法律トナツテ居ルカラ、善良ナル慣習程善良ナル法律ハナイト感シテ居ルカラ、確カナ慣習ガアレバ、ドウシテモ女主人デアル以上ハ、男女同權ト云フ眞理ハ或ル程度マデ含シテ居ルモノト思フカラ、何處マデモ善イコトデアリマセウケレドモ、今日ノ事情ニ對シテ、ドレ程マデニ、慣習ガ進シテ居ルカト云フコトハ、政府委員ガ説明出來ヌト云フコトデアリマスガ、今日直チニ答辯ヲ求ムルノデアアリマセヌガ、明日カ明後日マデニ、ドンナ程度マデ進シテ居ルハ慣習ガアルカ、如何ナル社會ニ之ガ行合テ居ルカ、ソレ以上何分ノ一マデ進シテ居ルト云フ説明ガ出來マセウカ、若シ出來ナケレバ唯習慣ガアルト云フ一言デ止メラレルノハ、或ル人ノヤウニ學者デアルカラ信用スルト云ヘバ、ソレマデダカ、吾々ハ責務トシテドウモ服サレヌコトデアリマスカラ、明日デモ明後日デモ早イ方ガ宜イガ、ソレマデニ調ベテ、是ダケノ御説明ガ出來マセウカ、如何デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 事實上女戸主ガ幾人アリ入夫ニシテ戸主ニナラザルモノガ幾人アルト云フコトハ、中々二日ヤ三日ニ調ベルコトハ出來マセヌカラ、残念ナガラ之ヲ調ベテ來イト云フ御命ニハ從ヒ兼ネマス、又ドウ云フ社會ニドレダケノ歩ヲ以テ存スルカト云フコトハ、總体ノ數ガ調ベナケレバ分リマセヌカラ、是亦御答ヘハ出來兼ネマス、併シナガラ唯其例デ宜イト云フコトナラバ、華族ニモ女戸主ト云フ例ガアル、士族ニモ平民ニモ澤山アルノデ、其例ヲ云ヘト云フコトナラバ容易ク申サレマス、華族ナドハ數ガ少ナイカラ記憶シテ居ルノガアリマスガ……

○委員長(大岡育造君) 其事ハ何度モ仰シヤツタヤウデアリマスガ、如何デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレデハ控ヘマス

○(關信之介君) モウ其事ハ度々承リマシタシ、大抵質問モ盡キタヤウデスカ

カラ、モウ決テ御採リニナツテハ如何デス

○(北島傳四郎君) 國會議員ノ資格ノナイ一個ノ北島ナラ、ドウデモ宜シイガ、代議士タル以上ハ、分ラヌ間ハ聞クノデ、是ダケハ權利デアラウト信ズル、ソレデ唯一言四千萬人以上ノ人ガアルノデアリマス……

○委員長(大岡育造君) 北島君ニ申シマスガ、出來ナイモノヲ強ユルノハ、代議士ノカト雖モ出來兼ネルト思ヒマス、是カラ先キハ御議論デス

○(北島傳四郎君) サウデアリマセヌ、例ヲ云フカラト云フカラ、ソレニ就イテ云フノデス

○委員長(大岡育造君) 既ニ出來能ハヌト云フノデスカラ、後トハ討論ニナリマセウ

○(北島傳四郎君) 一二ノ例ナラ聞ク必要ハナイ、ソレデ出來ナイト云フコトハ之ハ習慣デアアル、習慣ト云フコトヲ認メタト云フガ、私ハ事實トハ反シテ居ルト思ヒマス、詰リ無責任ノ議論ト考ヘマス、斯ウ云フ習慣ハナイト思ヒマス

○(山田喜之助君) 先ノ帝室ノ事ニ就キマシテノ御答辯ガ一部分ヨリナカッタト思ヒマスカラ、御尋ネテ致シマス、ソレハ外デモアリマセヌ、本員ガ帝室ノ事ヲ聞キマシタノハ、吾々匹夫ノ家ト帝室ト同ジト云フノデアリナイ、實ニ國務ニ御多忙ナル帝室スラ御退隱ト云フ制度ハ、廢セラレテ居ル、吾々匹夫ノ家ニハ戸主ト云フモノニ、左程重大ナ責務ハナイノデス、卑屬親ニ對スル責任ハアリマスガ、外ニ向ツテ責務ハナイ、封建ガ破レタ以上ニハ、詰リ此民法ノ他ノ箇條ニモゴザイマス通り、七百三十三條ノ第三項ニゴザイマス、七百三十五條ノ第二項ニゴザイマス、生レタバカリノ赤子デモ、一家ヲ創立スル、是ハ一人デ申スト、家族ヲ兼テ居ルモノデナケレバナラヌ、詰リ家ト云フモノハ、無形ニ成立ツタ思想デ、此法典ニ於キマシテハ、家ト云フモノハ法人デアリナイノデスナ、無論私ハサウ見テ居ルノデス、無形ノ思想デアリマスケレドモ、法人デアリナイソレカラ戸主ト云フモノガ家族ニ向ツテハ多少ノ義務ヲ負ツテ居リマスガ、世間一般ニ對シテ、ドレダケノ務メガアルトカ云フコトハナイ、年ヲ取ツタカラ出來ナイト云フ程ノコトハナイノデス、サウシテ見レバ今日ノ場合ニ於テ帝室スラ舊慣ヲ破ツテゴザルノニ、戸主トシテムツケシイ義務ノアル譯デナイノニ、年ヲ取ツテ生命ダニアル限リハ、戸主ノ義務ハ出來マスノニ、隱居ト云フコトヲ認メルガタメニ、色々不都合ヲ來スト云フコトハ、甚ダ残念ナコトデアラウト、私ハ思フノデス、前ノ御答ニ依リマスルト帝室ト匹夫ノ家ハ違フト云フ御答辯ガアリマシタ、ソレハ了承致シマシタ、吾々モ始メカラ同一トハ思ハナイ、併ナガラ封建ノ遺物ハ封建ト共ニ止マラナケレバナラヌ、佛教其他ノ原因ヨリ來リタル所ノ厭世的思想ハ、最早今日ニ於テドウカ撲滅シナケレバナラヌ、即チ著シキ速力ヲ以テ進歩ノ程度ニ向ヒツ、アル日本ハ、ドウモ佛教其他ノ厭世的思想ハ撲滅シナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスカラ、單ニ習慣デアアルカラ、御採リナ

サツタト云フコトニナルノデスナ、ソレトモ善良ナル習慣デアラカラ存シテ居ルノデアリマスカ、善良ナル習慣デアラナラバ、其謂ハレ因縁ヲ簡單ニ承リタイノデス、是ガ一ツデス、ソレカラ次ニハ今大分皆サンノ御質問モアリマシタガ、庶子及私生子ノ關係、私ノ考ハ誤ッテ居レバ無論御正シテ願ヒタイノデスガ、一々質問ノ形ヲ以テシマセヌ、男子ニ向ッテ嫡出子ト庶子ノ關係ヨリナイモノト見エル、ソレカラシテ婦人デハ私生子ト云フ關係ト、嫡出子ト云フ關係トノ二ツヨリナイモノ、ヤウニ見エル、サウデアリマスカ、ドウデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、私ノ解釋デ宜シイノデスカ、ドウデアリマスカ、御答辯ニ……

○政府委員(梅謙次郎君) 初メノハ議論ニ渉ル、要點ハ省キマシテ、御質問丈ニ御答致シマスガ、吾々ノ考ヘデハ……トハ務メノ多クナイ戸主デアラカラ從テ其戸主權ト云フモノニ隱居モ出來ヌト云フ程ノ制限ヲ附スル必要ガナカラウ、慣習ノ存シテ居ルモノデ害ガナイ以上ナラバ、認メテ宜カラウ、特ニ良イ慣習ダケデナケレバ、慣習ハ採ラヌト云フ、吾々ノ方針ハ法典調査ノ上ニ採ラナカツタ、現行ノ慣習ハ改メナケレバ仕様ノナイモノダケヲ改メ、理窟カラ言ヘバ、多少害ノアルモノデモ、其害ノ甚シカラザル限リハ改メヌト云フ主義ヲ以テ、法典ヲ編纂致シタノデアリマスカラ、隱居ト云フモノハ之ヲ理論上カラ論ジマシタル所ニ依ツタナラバ、ソレガ随分害モアルモノデ、或ハ禁シタ方が宜イト云フ考ハ起リマスルコトデアリマシタガ、今禁ズル程ノ必要ガナイ、斯ウ認メマシタ、ソレカラ第二ノ御問ハ略、御見解ノ通りデ、男ニ就イテハ嫡出子ト庶子シカナイ、男ノ認メマスコトニ私生子ハナイ、女ニ就キマシテハ嫡出子ト私生子シキヤナイケレドモ嫡母カラ見マスルト夫ノ庶子ハ矢張庶子デアリマス

○(山田喜之助君) 私ノ認メタ通りデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デゴザイマス

○(山田喜之助君) サウスルトモウ一ツ質問致シマス、婦人が私生子ヲ持ッテ居ルト云フノハ、男子ノ場合ニハ庶子ト云フ一ツ尊イ位置ニ居ラレト云フノデ、婦人ニ對シテハ居ラレヌコトニナルノデスナ、庶子ト云フ位置、サウシテ嫡出子ト云フ地位ハ、無論居ラレナイヤウニ思ハレマスルノデスナ、私生子デスカラ一ツレカラシテ嫡母ニ關係ハ無論ナイモノト見エルノデスナ、サウスルト男子ガ認メザル以上ハ、私生子ト云フモノハ、其母ニ對シテハ如何ナル方法ヲ以テシテモ、私生子ヨリ優等ナル位置ニ居ラレト云フ工夫ハ、此法典ノ多少箇條ニ於テアルノデアリマスカ、ナイノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 此男子ノ方ハ同シヤウナル位置ニ居ルモノモ庶子デアアル、女子ノ方カラ同シ位置ニ居ルモノデモ、私生子デアルト云フノハ、多少不公平ト云フ考ヘモアリマスガ、ソレハ父子ノ姦通ヨリ離婚ノ因トナッテ男子ガ其婦人ト離婚ノ因トナルナドト云フコト、慣習上牽連シタ問題デアラウト思ヒマス、第二ノ御問ノ私生子ガ是ヨリ優等ナル位置ニ進ムコトガ

出來ヌカト云フ御尋ハ出來マスルノデゴザイマス、ソレハ先ツ養子ノ方法デ一ツハ出來マス、養子ニ依ッテ嫡出子ノ身分トナルコトガ出來マスカラ、養子ニ依ッテ……

○(山田喜之助君) 母ニ對スルノハ……

○政府委員(梅謙次郎君) 母モデゴザイマス、今一ツハ母ガ自分ノ通シタ男ト婚姻ヲ致シマスルト、其男サヘ其子ヲ認メマスレバ、矢張嫡出子ニナレル母ニ對シテモ……

○(山田喜之助君) チョット今ノコトデスガ、婚姻ヲシタ場合ニ嫡出子ニナルノハ、質問以外デアッタノデスガ、私生子ガ矢張母ニ對シテハ、實母子ノ關係ハアルノデスカ、ソレデソレガ母ノ養子ニナルト云フコトガ、實ハ氣ガ付カナカツタノデス、ソレハ明文ガナクッテモサウ云フ工合ニ何カ解スルヤウニナッテ居リマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ養子ニナレナイモノハ制限シテアル、其制限外ノモノデアレバ、皆ナレルノデアリマス、他人ノ私生子デサヘモ養ッテ嫡出子トスルコトハ出來マス

○(山田喜之助君) サウ承ルト、養子ニスルト云フコトハ、ソレソレ解釋問題デア出來マセウケレドモ、ソレニ付イテハモウ少シ疑ヲ解クヤウニ致シタイト思ヒマスガ、ソレハ疑ヲ解クダケニ手續ヲ盡セバ宜イ、實際ニ於テ立法者ノ說ト同ジコトニナリマスカラ、女戸主ノ場合女戸主ヲ認メルト云フト、往私生子ト云フモノハ、有リ勝チデアラウト思フデスナ、是ハ必ず徒ラノ結果デナク、法律ノ手續ヲ過ツタガタメニ、適當ノ婚姻デナイト云フヤウナコトガゴザイマスカラシテ、必ず私生子ガ一々惡ルイモノトハ言ハレヌ場合モアル、或ハ氣ノ毒ナ結果ヨリ私生子ニナルト云フコトガアリマス、此場合ニ於テ女戸主ト云フ場合ニ、多少財産ノアル場合カ多カラウト認メナケレバナリマセヌ、又場合ニ依ッテ莫大ナ財産ガアラウト思ヒマス、既ニ女戸主ト云フコトヲ認メル以上ハ、其點ニ於テハ男子ト同様デアリマスカラ、養子ト云フ如キ特別ノ手續ヲセズトモ、己レノ實子タル私生兒ハ遺產相續ノ權利ヲ與フルト云フノハナイノデアリマセウカ、ソレハ實子タル養子ノ手續ニ依ッテ、嫡出子トシナイデモ遺產相續ガ出來ルヤウニナッテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ出來マス、私生兒モ相續權ヲ有ッテ居リマス、他ニ嫡出子ガアレバ、相續シナイガ他ニナケレバ、私生兒ガ相續ヲ致シマス

○(北島傳四郎君) 是ハ聞ク程ノコトデモアリマスマイガ、私生兒ニシテ男ノ親ノ無イ子供ヲ外ノ女ガ貰ッテ、直グ嫡出子トスルコトハ出來マスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 無論出來マス

○委員長(大岡育造君) 此條ニ御修正モゴザリマセネバ……

○(谷澤龍造君) アリマス、七百三十四條ノ第二項ヲ削除スル……

○(山田喜之助君) 私ハ修正ガ澤山アリマスガ、モウ時間ガアリマセヌカラ、今日ハ是デ止メテハドウデス

○委員長(大岡育造君) 又御寄リハなかくムツカシウゴザリマスカラ、時間ノ來ルマデハヤリマセウ

○(山田喜之助君) 私ハ修正ガ澤山アルノデアリマスカラ、モウ少シ寛大ナ御處置ハドウデス、是丈ムツカシイモノヲ修正ノ出來ナイヤウナ御政略ヲ爲サラズトモ、出ルヤウニ御獎勵ニ及ブマイガ……

○委員長(大岡育造君) 幾ラデモ伺ヒマセウ

○(鳩山和夫君) 修正案ノ御準備ガアレバ、直チニ提出シテ朗讀シテ貫ヒタイ、若シナケレバ、ズン／＼採決ヲ希望スル

○委員長(大岡育造君) 修正ガゴザリマスルナラバ、豫メ書面ヲ以テ御出シ下サルヤウニシタイ、ソレデナケレバ際限ガゴザリマセヌカラ

○(沼田宇源太君) ソレハ始メテ御宣告デゴザイマスカ

○委員長(大岡育造君) サウ云フコトヲスルノヲ例ニ致シタクゴザリマスカラ、諸君ノ御同意ヲ得テ置キマス、ソコデ今日ハサウハ往キマセヌカラ、今谷澤君ノ御演說ハ承ッテ置キマス

○(北島傳四郎君) 削ルト云フノデスカ

○委員長(大岡育造君) 削ルト云フノデスカラ、直グト極メマセウ

○(木村格之輔君) 其贊否ヲ決スルニ付イテハ、谷澤君ニ質問モシナケレバナリマセヌ

○委員長(大岡育造君) マダ成立シマセヌ

○(木村格之輔君) 私ハ贊成スルカモ知ラヌデス

○委員長(大岡育造君) 谷澤君ハ今御演說中ト認メマス

○(谷澤龍造君) 逆モ時間ガナカラウト思ヒマスカラ、止メルコトニシマス

○委員長(大岡育造君) ソレデハ今宣告致シマシタガ、鳩山君ノ發議デ修正ハ書面ヲ以テ出スト云フコトニ極マリマシタカラ……

○(山田喜之助君) サウデハナイ、成ルベク書面ヲ以テスルト云フコトデシ

○委員長(大岡育造君) ソレデハ決議ヲシマセウ

○(鳩山和夫君) 決議ヲスルマデモナク、順序ハサウナラナケレバナラヌト思フデス、委員會デハ多少緩メルコトハアツタカ知ラヌガ普通ハ……

○(山田喜之助君) 委員會ハソクナ規則ハ要ラヌデス
 ○(鳩山和夫君) 厲行スルコトニシタイト思ヒマス
 ○(山田喜之助君) 私ハ不贊成デス、委員會ハサウ云フ不親切ナモノデハナイ
 ○委員長(大岡育造君) 宜シウゴザリマス反對ノ御意見ガアレバ、御演說ナ
 ○(北島傳四郎君) 此法律ノ關係スル所ハ大キイデアリマスカラ、單純ナ文

章ヲ以テ茲デ議スル文字ヲ入レルト云フ如キコトニハ止ラヌ、私等ハ第一ニ隱居ヲ無クス、女戸主ト云フ制ヲナクスト云フ考ガアリマスカラ、殆ド此法律全体ヲ書直サナケレバナラヌ、ソレヲ書面デ出セト云フコトニナルト、到底一日ヤ二日ヤデハ出來ヌコトデアリマスカラ、難キヲ人ニ責ムルコトナリマス、サウ云フ意見ガアツテモ、何等ノコトモ言フナト云ヘバ、政略ナラバ已ムヲ得ヌガ、兎ニ角自分ノ意見ノアル所ヲ發表スルニ、書面ヲ出スコトハ出來ヌト云フ考ヲ持ッテ居ル

○(山田喜之助君) 私モ書面デ出スニハ反對デス

○委員長(大岡育造君) 大概議ハ盡キタト認メマス

○(山田喜之助君) イヤ、新ナ意見ガ、マダアリマス

○委員長(大岡育造君) ソレダケノ認メハ御許シテ願ヒマス、鳩山君ノ書面ヲ以テ修正ノ意見ヲ提出スルト云フコトニ御同意ノ方ハ御起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○委員長(大岡育造君) ソレデハ明日カラサウ云フコトニ致シマス、今日ハ是デ閉會シマス

正午散會

衆議院法例修正案外四件審查特別委員會速記錄第一號正誤

頁段	行	誤	正
四上	一〇	平岡浩太郎	平岡萬次郎
四下	三二	平岡浩太郎	平岡萬次郎
四下	三四	平岡浩太郎	平岡萬次郎
頁段	行	誤	正
五上	七	平岡浩太郎	平岡萬次郎
五下	一二	平岡浩太郎	平岡萬次郎

衆議院豫算委員會第二科速記錄第二號正誤

頁段	行	誤	正
一五下	一一	收入	支出
頁段	行	誤	正
一五下	一五	工務局	港務局